

# 府立高校をめぐる状況

大阪府教育委員会事務局

# <目次>

<b>I 社会情勢</b>	…4	<b>II 府立高校の状況</b>	…13
1. 人口の動向(全国・大阪府)	…5	1. 学校数・生徒数	
2. グローバル化		(1) 学校数の推移(全国・大阪府)	…14
(1) 国際競争力の推移(全国)	…6	(2) 生徒数の推移(全国・大阪府)	…15
(2) 海外留学の状況(全国)	…7	(3) 高校数・生徒数(大阪府)	…16
3. 経済格差		(4) 課程別学校数(全国・大阪府)	…17
(1) 貧困率の推移(全国)	…8	(5) 課程別生徒数(全国・大阪府)	…18
(2) 生活保護の状況(全国・大阪府)	…9	(6) 学科数の推移(全国)	…19
(3) 学習費の状況(全国)	…10	(7) 府立高校の課程・学科別生徒数	…20
4. 雇用環境		2. 学区・学級	
(1) 若年者の完全失業率の推移(全国)	…11	(1) 通学区域(主要都府県・大阪府)	…21
(2) 若年者の非正規雇用率の推移(全国)	…12	(2) 学級規模(主要都府県・大阪府)	…22
		(3) 府立高校の学級規模の推移	…23
		3. 入学者選抜	
		(1) 公立高校の入学者選抜の状況①(大阪府)	…24
		(2) 公立高校の入学者選抜の状況②(大阪府)	…25
		(3) 高校の公私比率の推移(大阪府)	…26
		(4) 公立中学校卒業生数の推移と将来推計(大阪府)	…27
		4. 学校施設	
		(1) ICTの整備と活用状況①(教員用)	…28
		(2) ICTの整備と活用状況②(生徒用)	…29
		(3) 校舎の耐震化の状況(全国・大阪府)	…30
		5. 教職員	
		(1) 教職員数(全国・大阪府)	…31
		(2) 教諭の年齢構成(大阪府)	…32
		(3) 教諭の新規採用の状況(大阪府)	…33

## <目次>

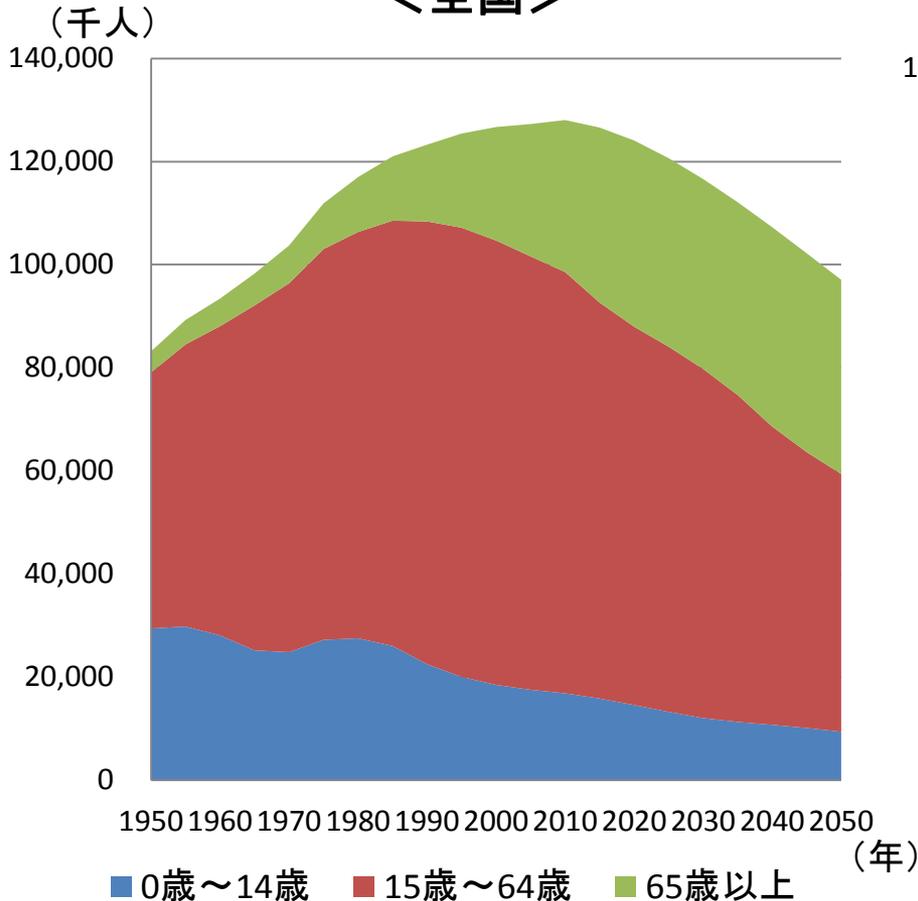
Ⅲ 生徒をめぐる状況	…34
1. 中学校卒業後の進路(全国・大阪府)	…35
2. 高校卒業後の進路	
(1) 進学率の推移(全国・大阪府)	…36
(2) 就職率の推移(全国・大阪府)	…37
(3) 進路に関する意識調査①(全国)	…38
(4) 進路に関する意識調査②(全国)	…39
(5) 進路に関する意識調査③(全国)	…40
3. 生徒が抱える課題	
(1) 暴力行為・いじめの状況(全国・大阪府)	…41
(2) 不登校の状況①(全国・大阪府)	…42
(3) 不登校の状況②(全国比較)	…43
(4) 中途退学の状況①(全国・大阪府)	…44
(5) 中途退学の状況②(全国比較)	…45
(6) 少年非行の状況(全国・大阪府)	…46

# I 社会情勢

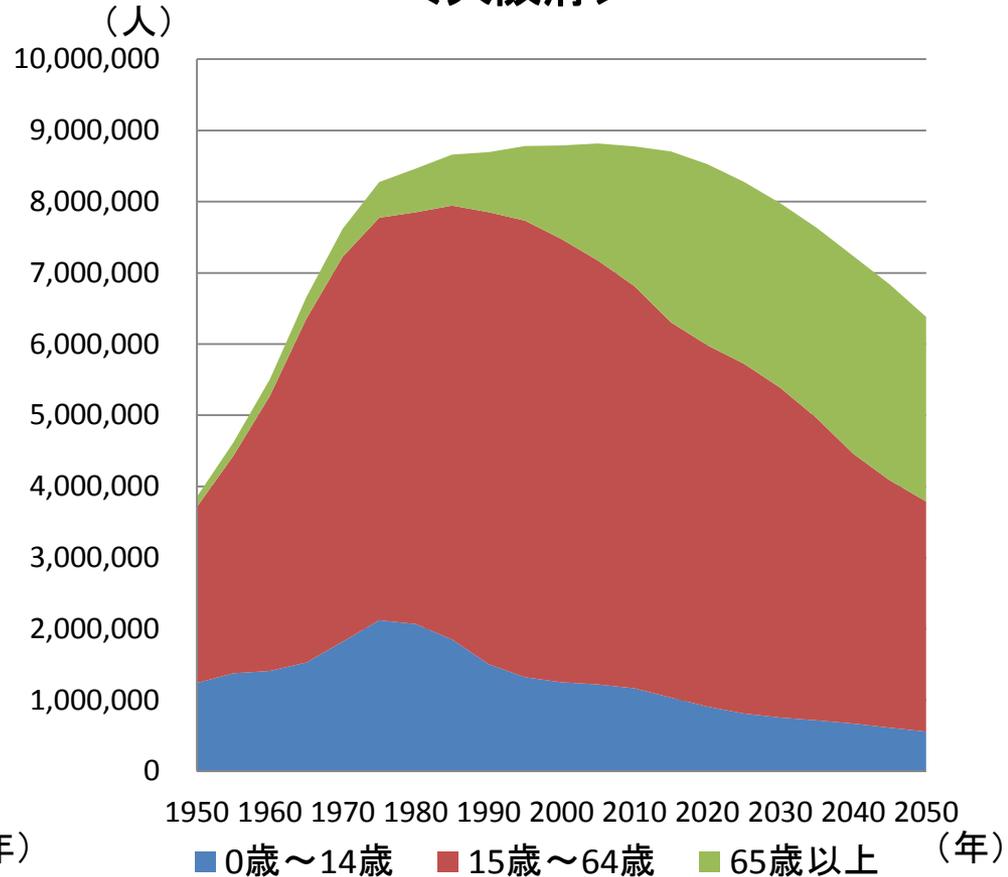
# 人口の動向(全国・大阪府)

- 全国では、2005年に初めて自然減となり、以降減少傾向。
- 大阪府は、1950～70年代に急増し、2011年の887万人をピークに減少。

<全国>



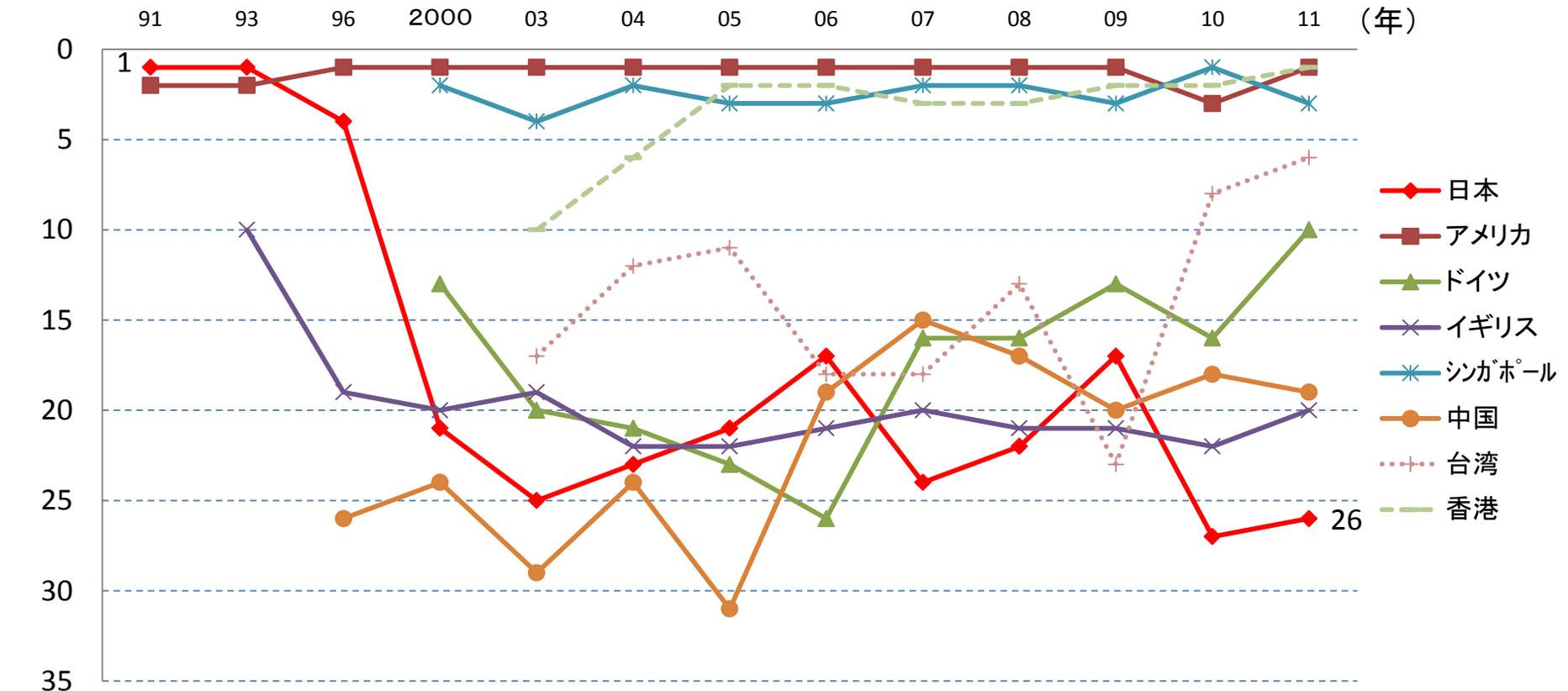
<大阪府>



# 国際競争力の推移(全国)

- 日本は、90年代後半以降、20位前後に転落。
- 近年は、アメリカ・シンガポール・香港が上位を占めている。

## IMD国際競争力ランキングの推移

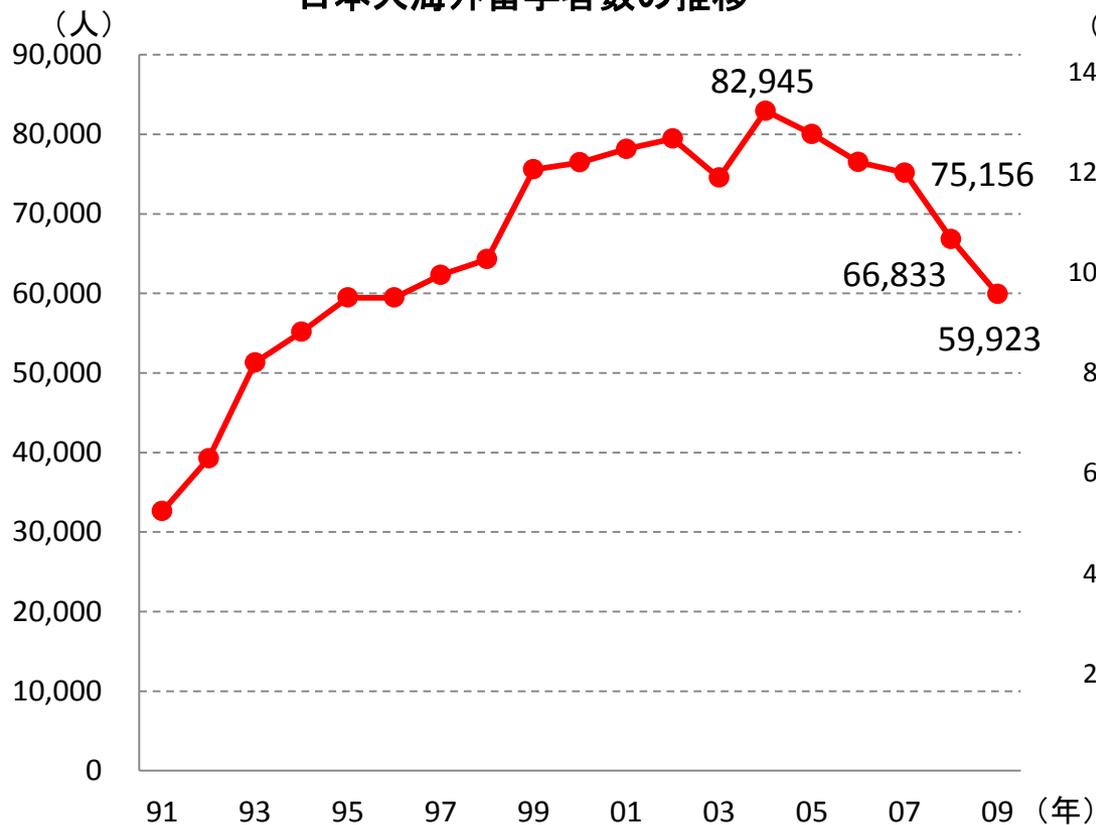


※IMD:International Institute for Management Development(スイスの国際経営開発研究所)  
 ※IMDのランキングは、経済状況・政府効率性・ビジネス効率性・インフラ等の指標を総合的に勘案して算出

# 海外留学の状況(全国)

- 長らく増加傾向であったが、2004年をピークに減少傾向。
- 2008年から2009年は10.3%減少。

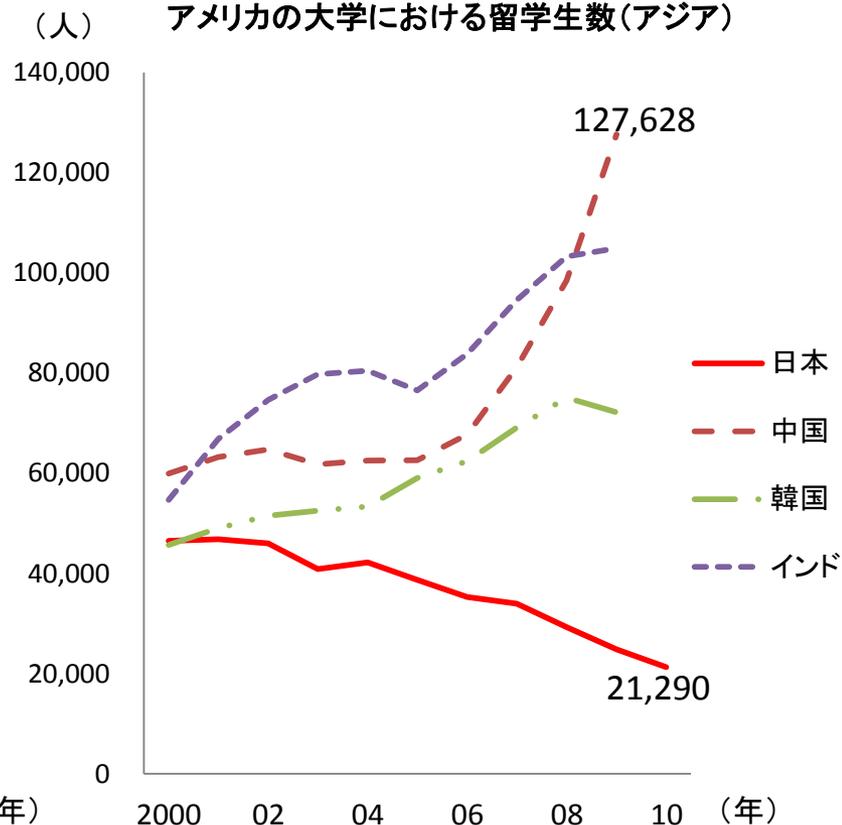
日本人海外留学者数の推移



出典:文部科学省「日本人の海外旅行者数」(平成24年1月)

<参考>

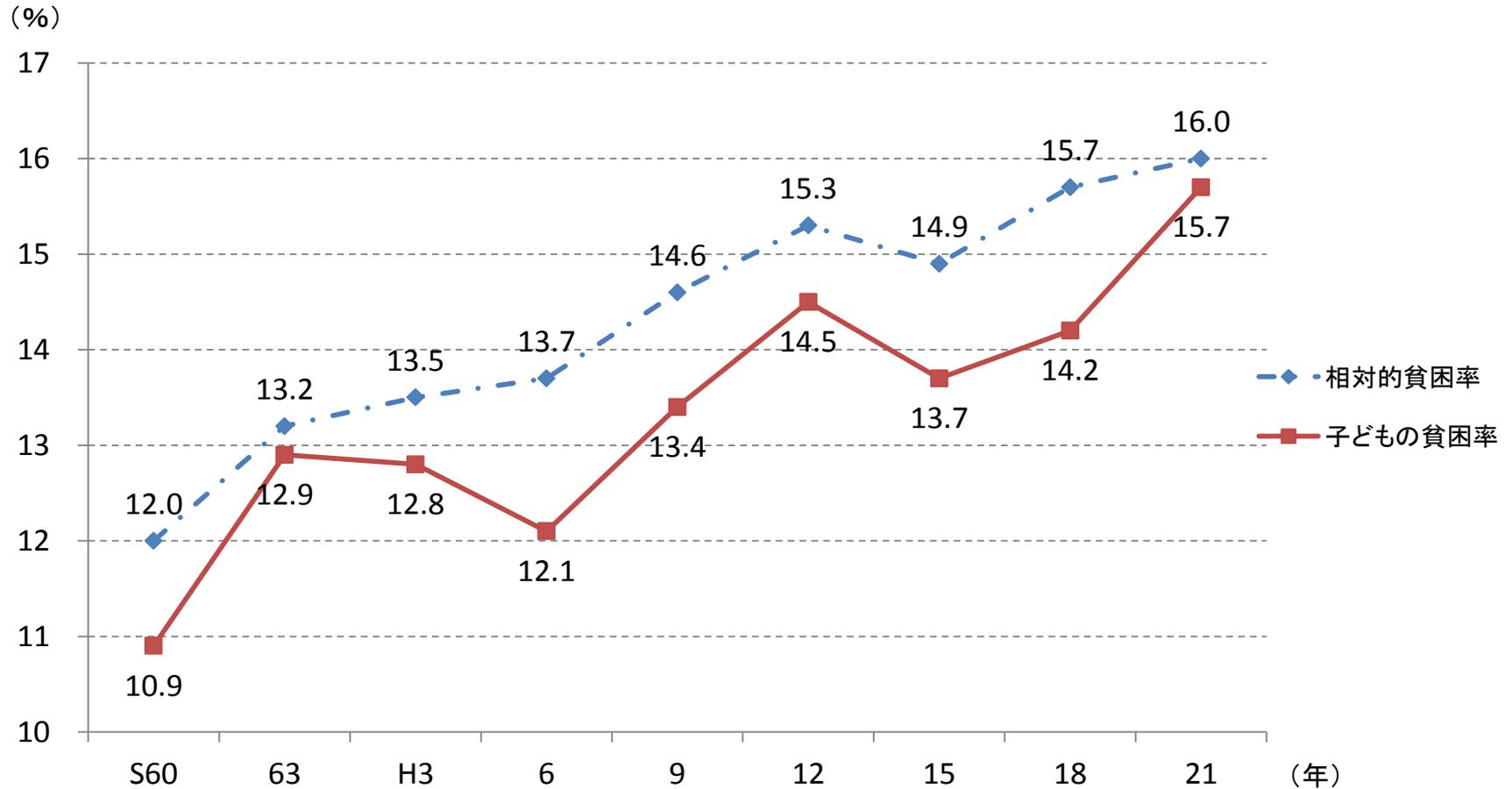
アメリカの大学における留学生数(アジア)



出典:IIE(Institute of International Education)「Open Doors」

# 貧困率の推移(全国)

➤ 相対的貧困率、子どもの貧困率ともに上昇傾向にある。



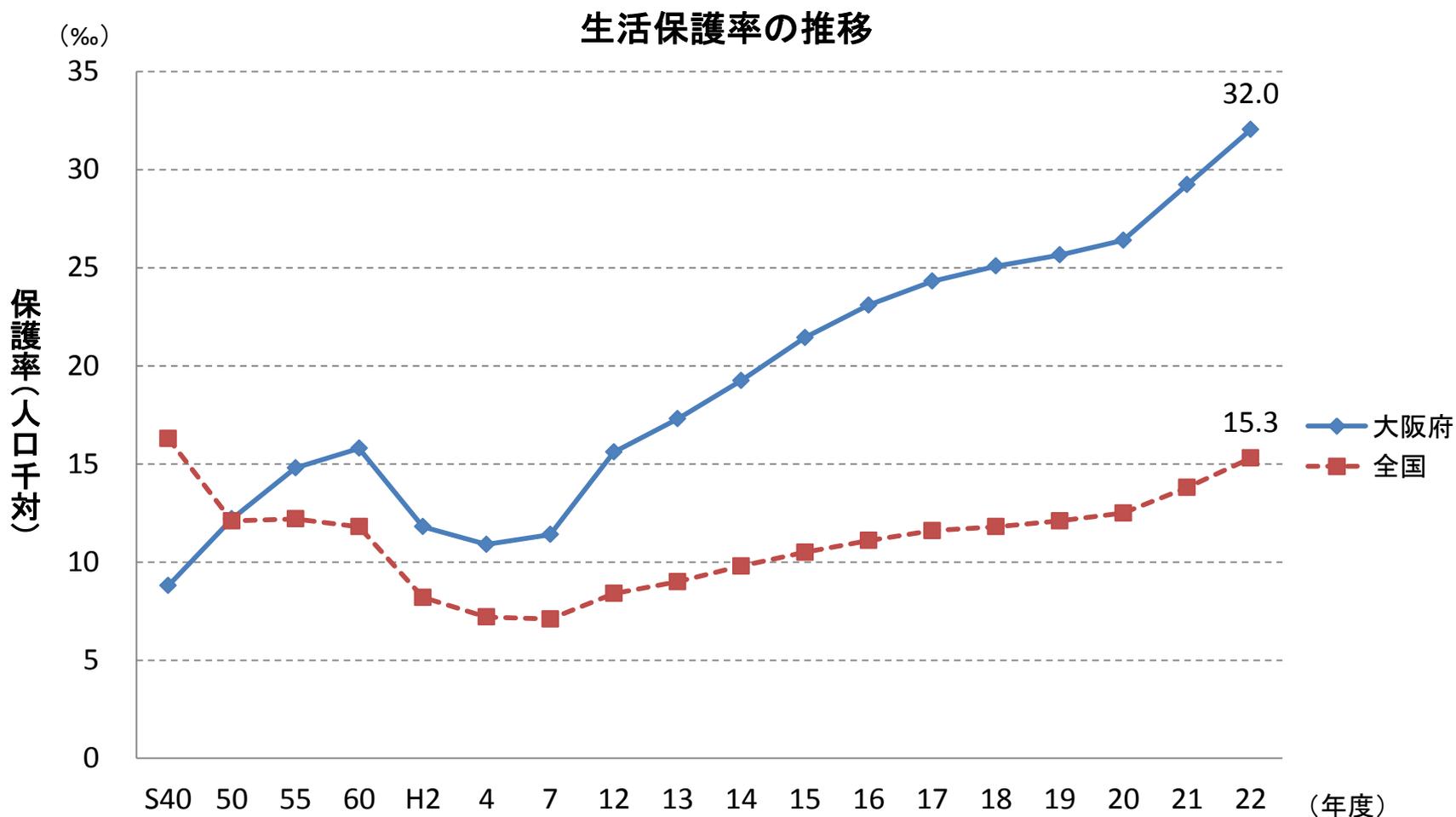
※相対的貧困率: 貧困線に満たない世帯員の割合(OECD基準)

※子どもの貧困率: 17歳以下の子ども全体に占める、貧困線に満たない17歳以下の子どもの割合(OECD基準)

※貧困線: 世帯の手取り収入相当額を世帯人員数等で調整した値で並べ、その中央に位置する値の半分の額。

# 生活保護の状況(全国・大阪府)

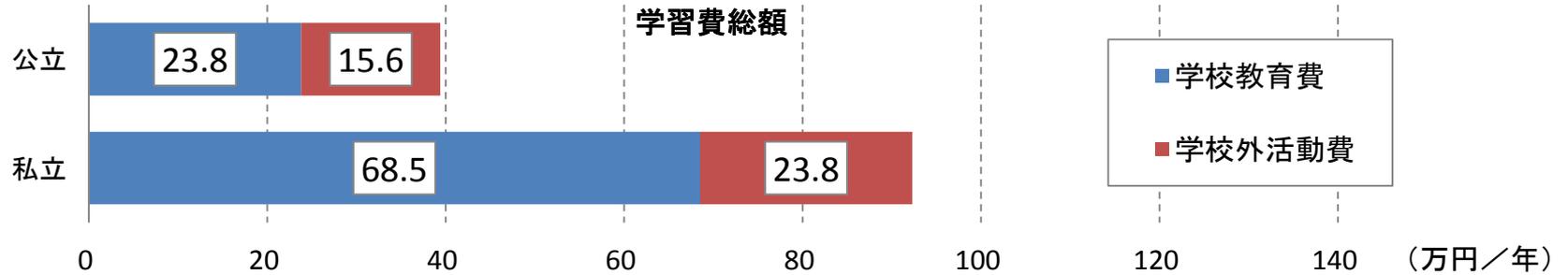
- 全国・大阪府とも増加傾向。
- 大阪府は昭和50年以降、全国平均を上回っており、近年特に急激に増加。



出典:大阪府社会援護課「大阪府の生活保護」(平成24年3月)

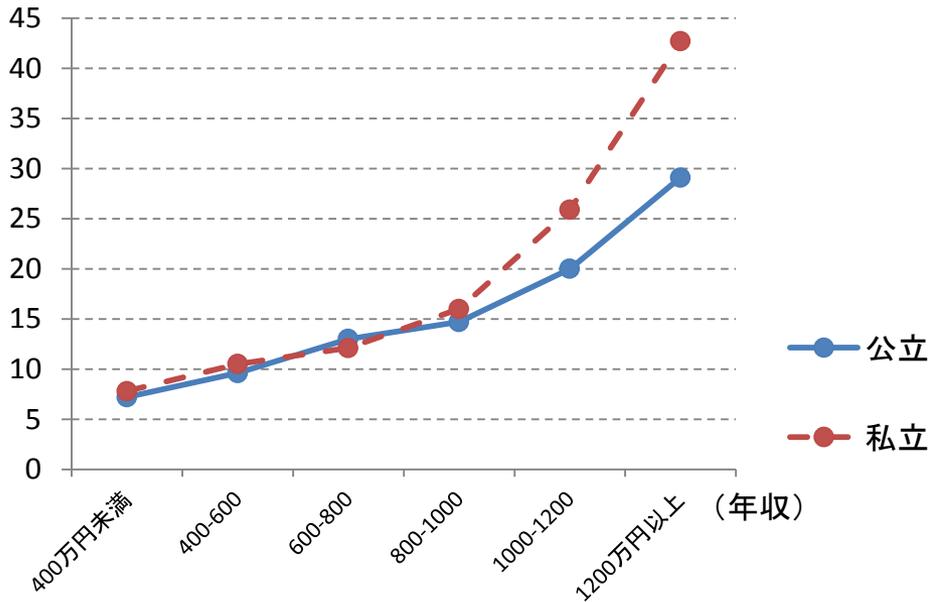
# 学習費の状況(全国)

- 学習費総額は、私立が公立を約2.3倍上回っている。
- 補助学習費(学習塾費等)は、収入が高い世帯ほど増加。

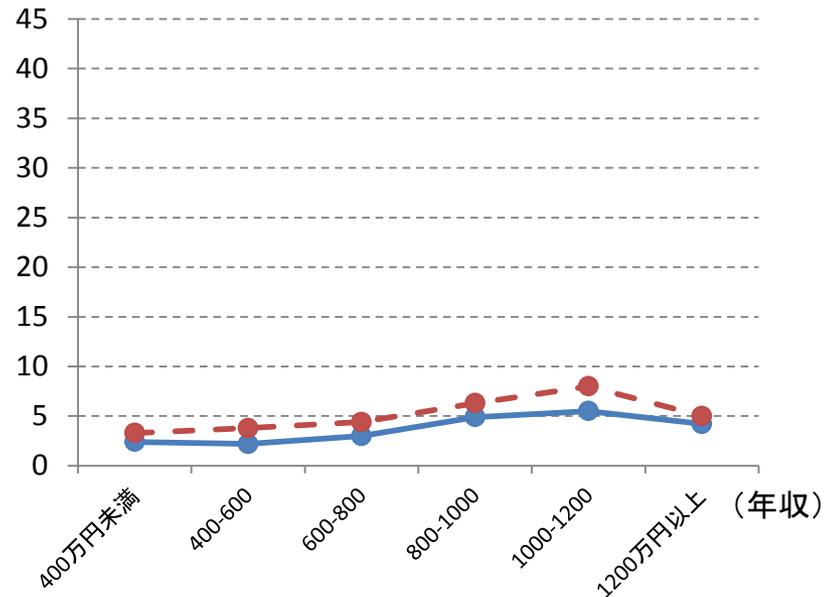


※公立高校の学校教育費は、授業料無償化の影響あり

(万円/年) 世帯年収別の補助学習費



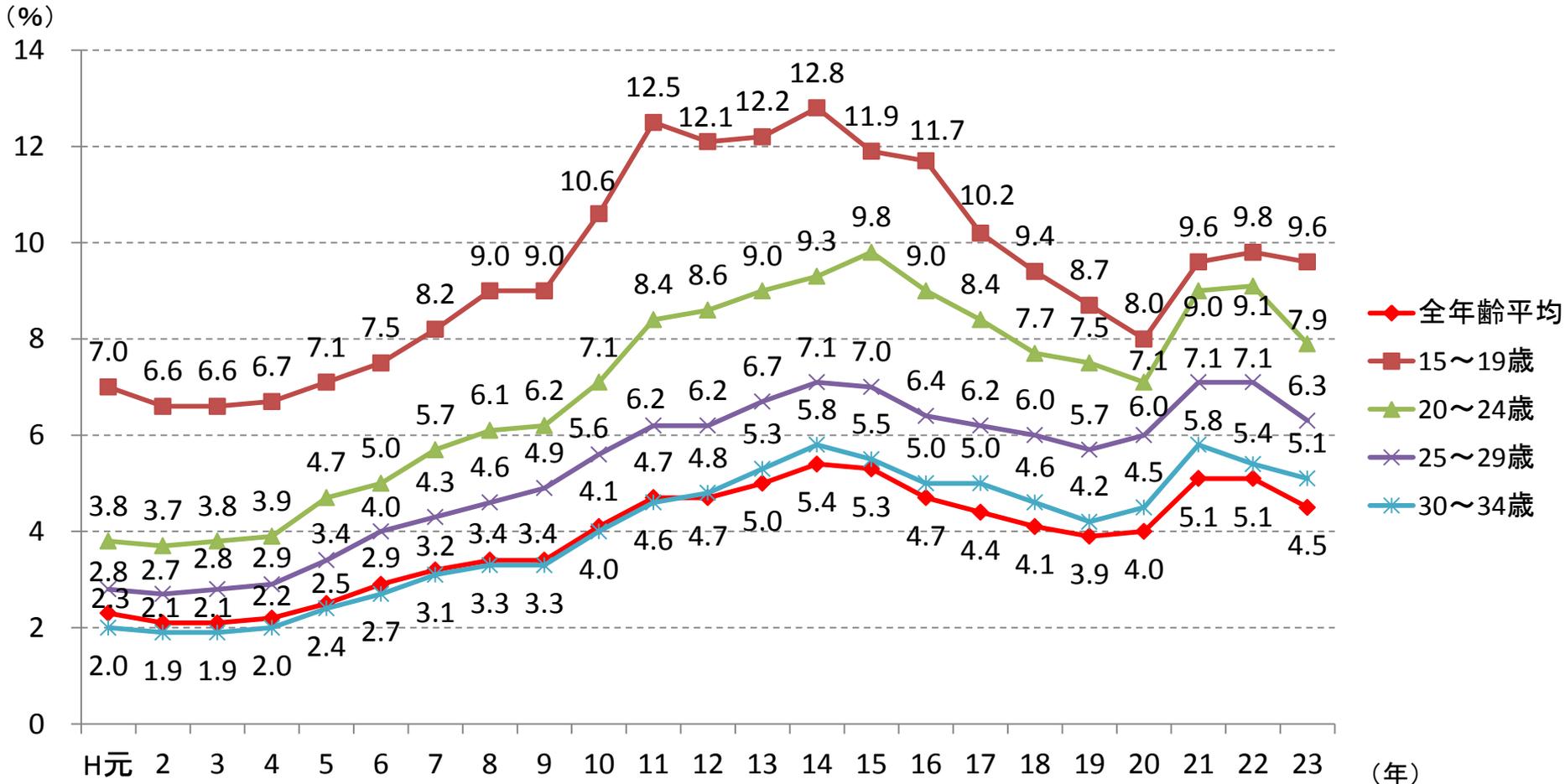
(万円/年) 世帯年収別その他の学校外活動費



出典: 文部科学省「平成22年度子どもの学習費調査」

# 若年者の完全失業率の推移(全国)

- 近年は、改善傾向にあったが、リーマンショック以降に再び悪化。
- 若年層は、全年齢平均より常に高い水準であり、相対的に厳しい雇用環境。

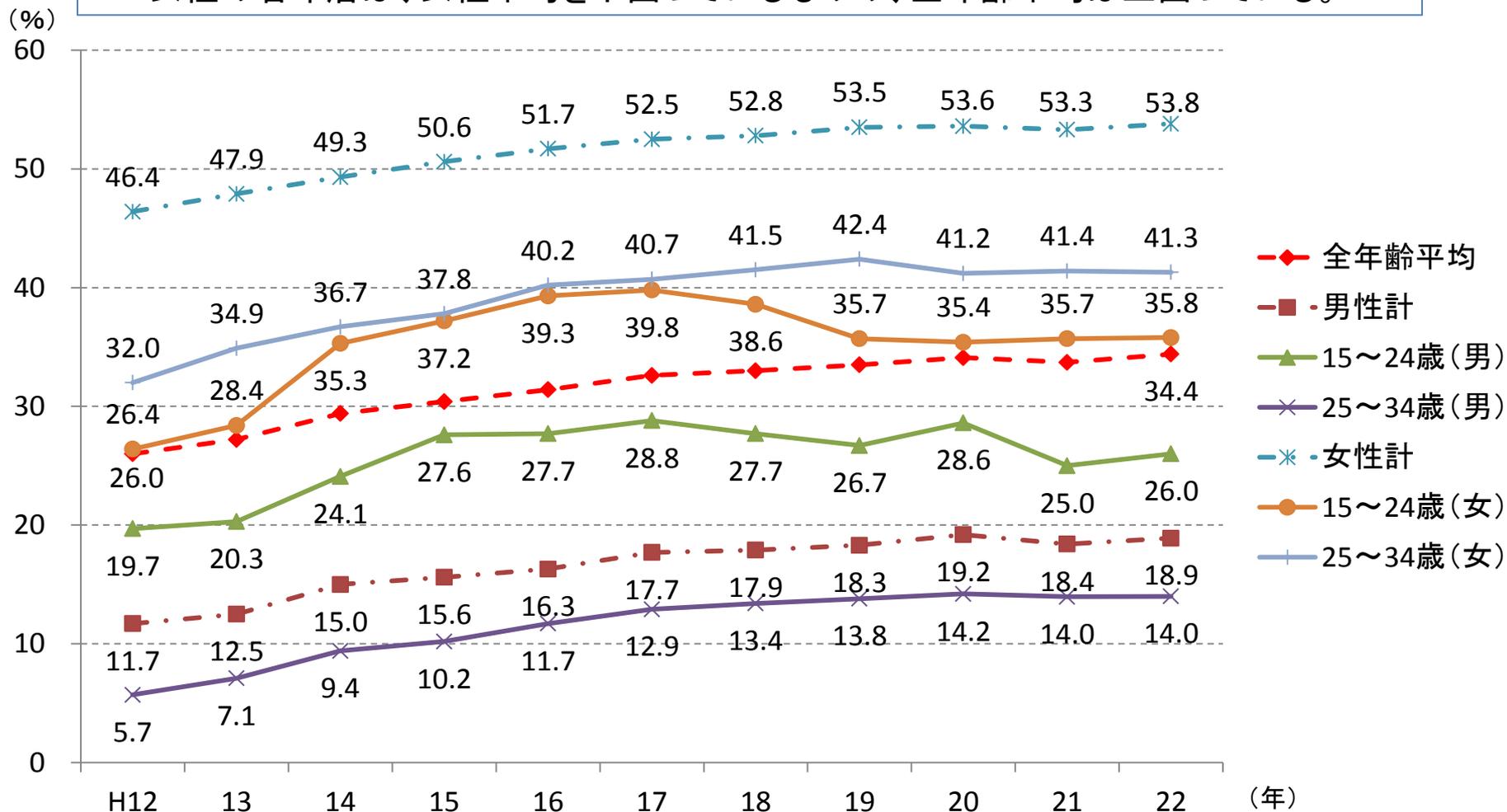


※平成23年は、岩手県・宮城県・福島県を除いた結果

出典：総務省「労働力調査」

# 若年者の非正規雇用率の推移(全国)

- ▶ 男女とも、非正規雇用率は年々上昇。
- ▶ 男性は、15～24歳で男性平均を上回っている。
- ▶ 女性の若年層は、女性平均を下回っているものの、全年齢平均は上回っている。



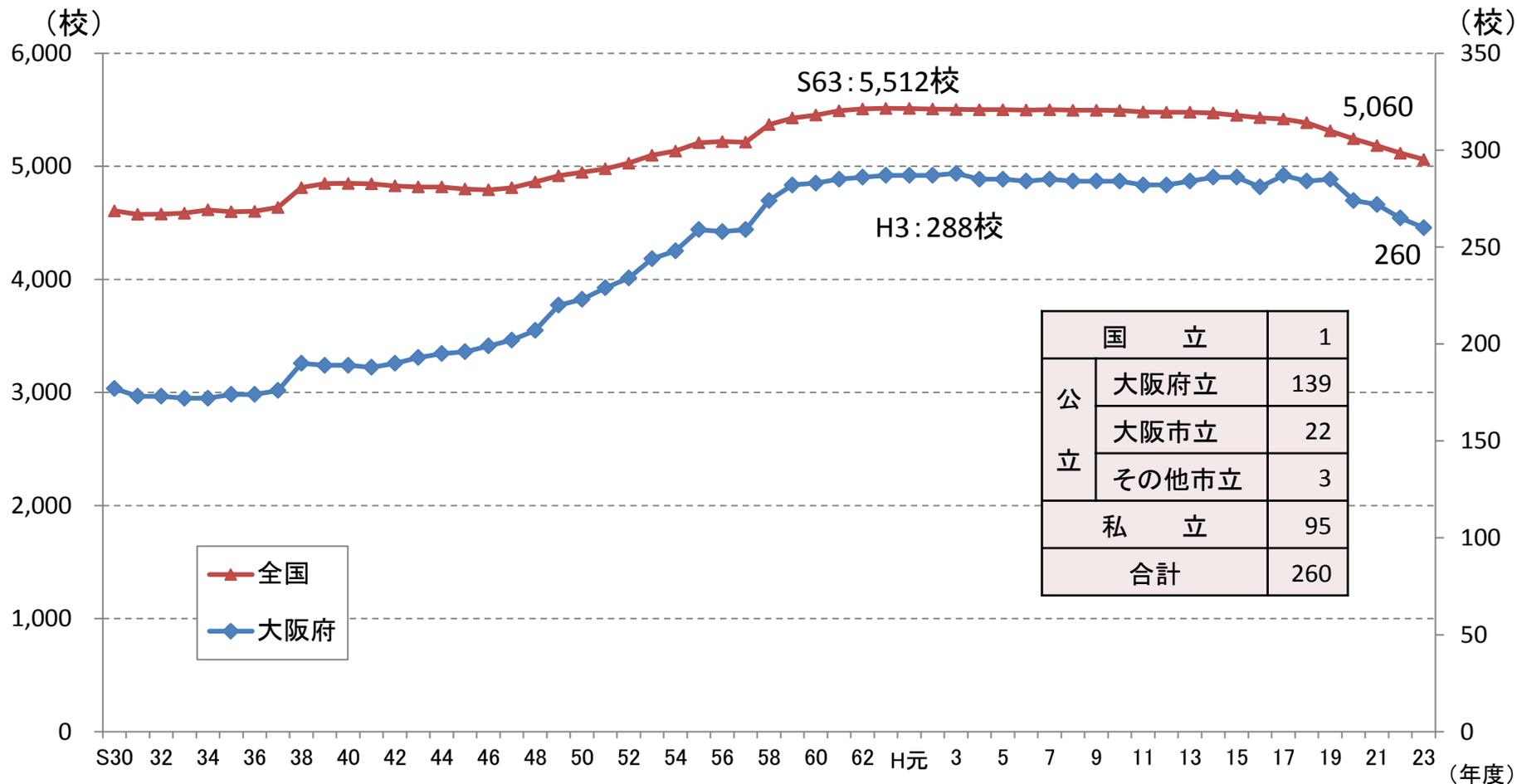
※15～24歳は、在学中の者を除く

出典:総務省「労働力調査」

## Ⅱ 府立高校の状況

# 学校数の推移(全国・大阪府)

- 全国・大阪府とも同じような増減傾向。
- 昭和60年頃からはほぼ横ばいだったが、近年は緩やかな減少傾向で推移。

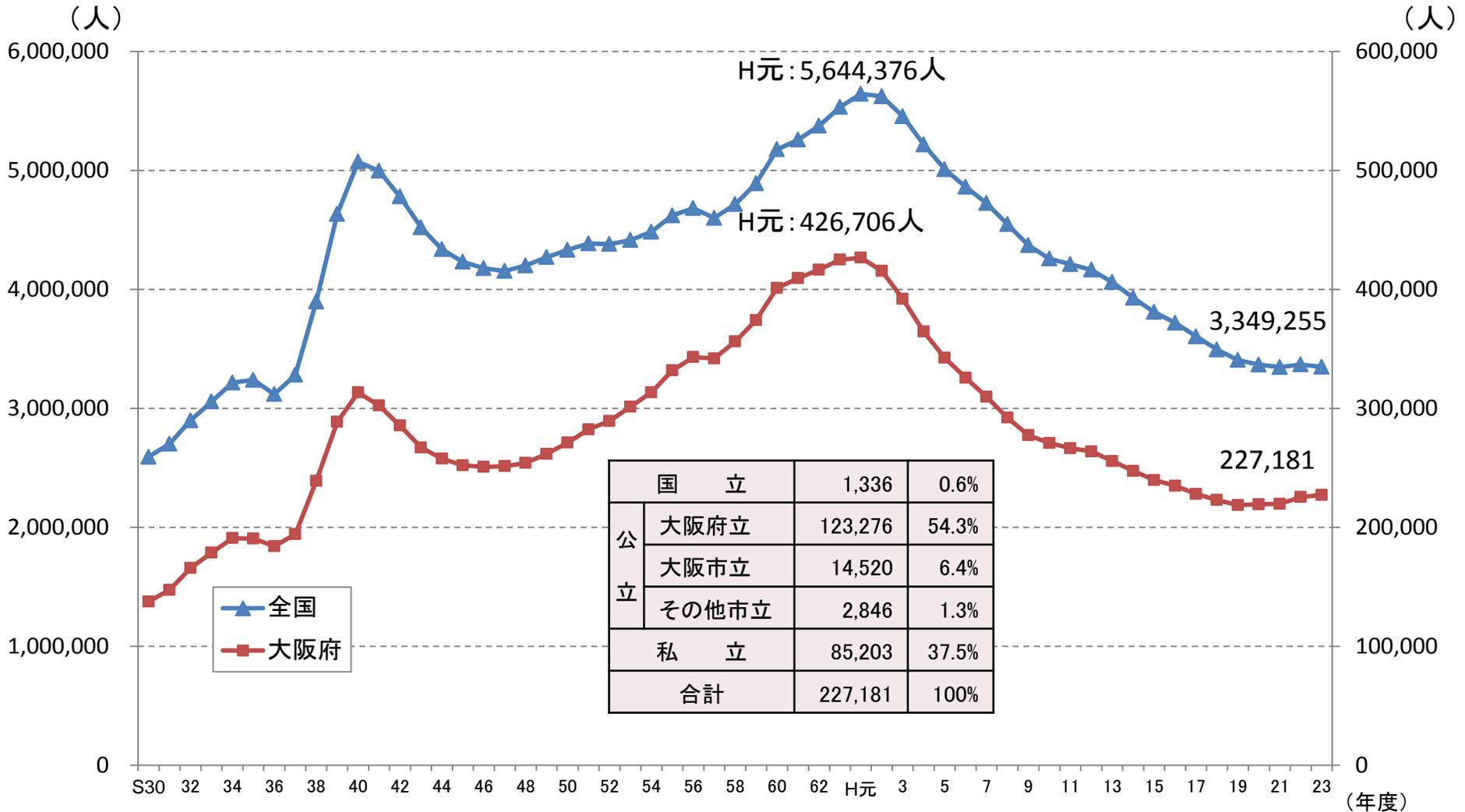


※ 国立・公立・私立の計(全日制・定時制のみ)

出典:文部科学省「学校基本調査」

# 生徒数の推移(全国・大阪府)

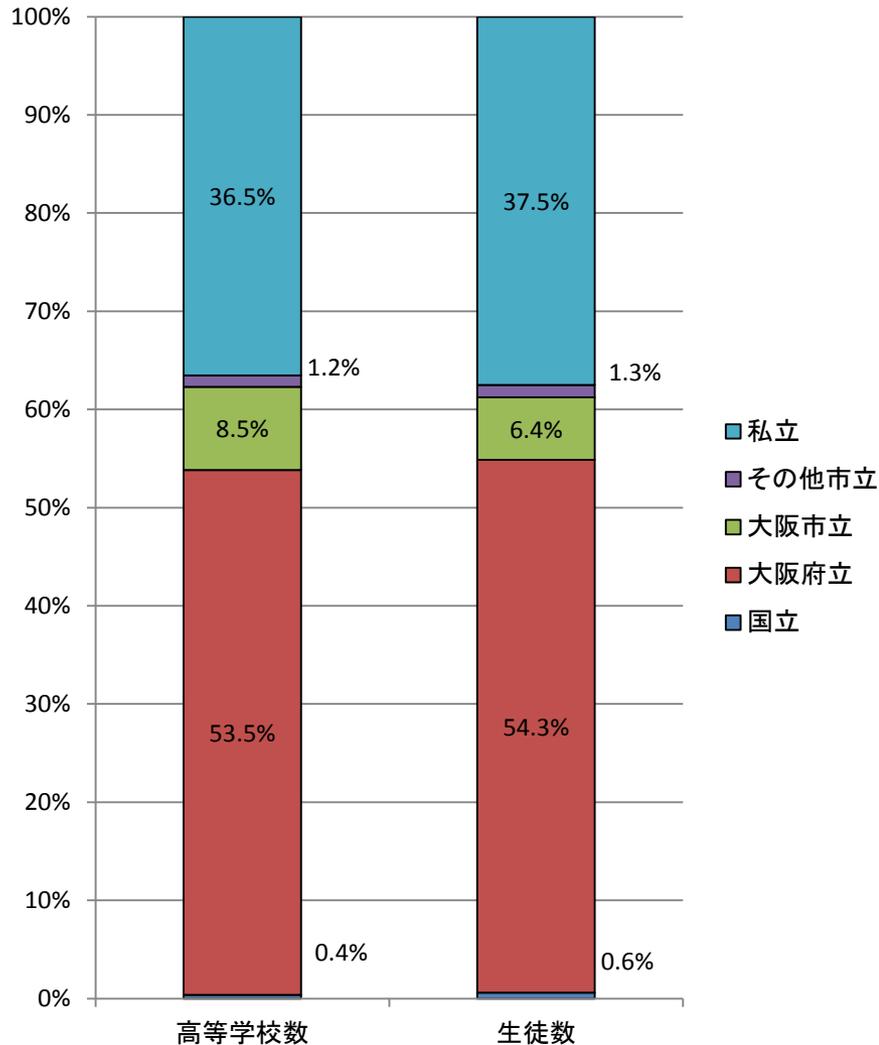
➤ 全国・大阪府とも同じような増減傾向で推移し、平成元年をピークに減少。



※ 国立・公立・私立の計(全日制・定時制のみ)

出典: 文部科学省「学校基本調査」 15

# 高校数・生徒数(大阪府)

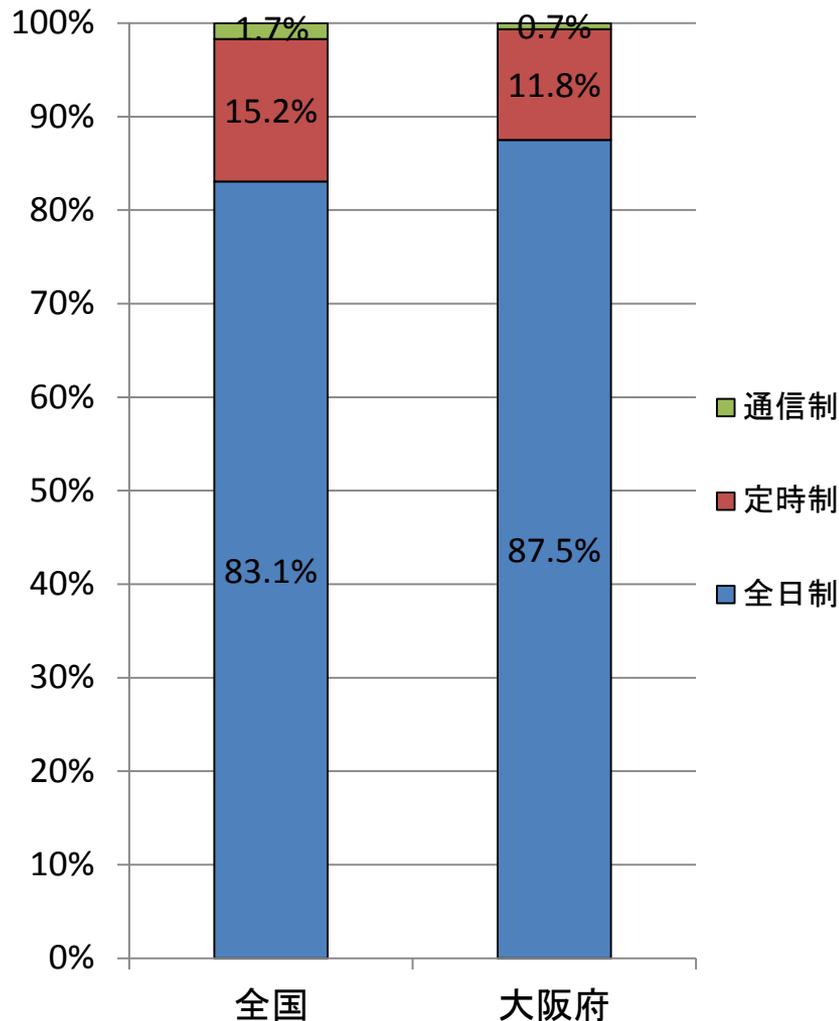


【大阪府内の高等学校数】(平成23年5月1日現在)

		高等学校数 (校)	生徒数 (人)
公立	国立	1	1,336
	大阪府立	139	123,276
	大阪市立	22	14,520
	その他市立	3	2,846
私立		95	85,203
合計		260	227,181

出典:文部科学省「学校基本調査」

# 課程別学校数(全国・大阪府)



## 【課程別学校数】

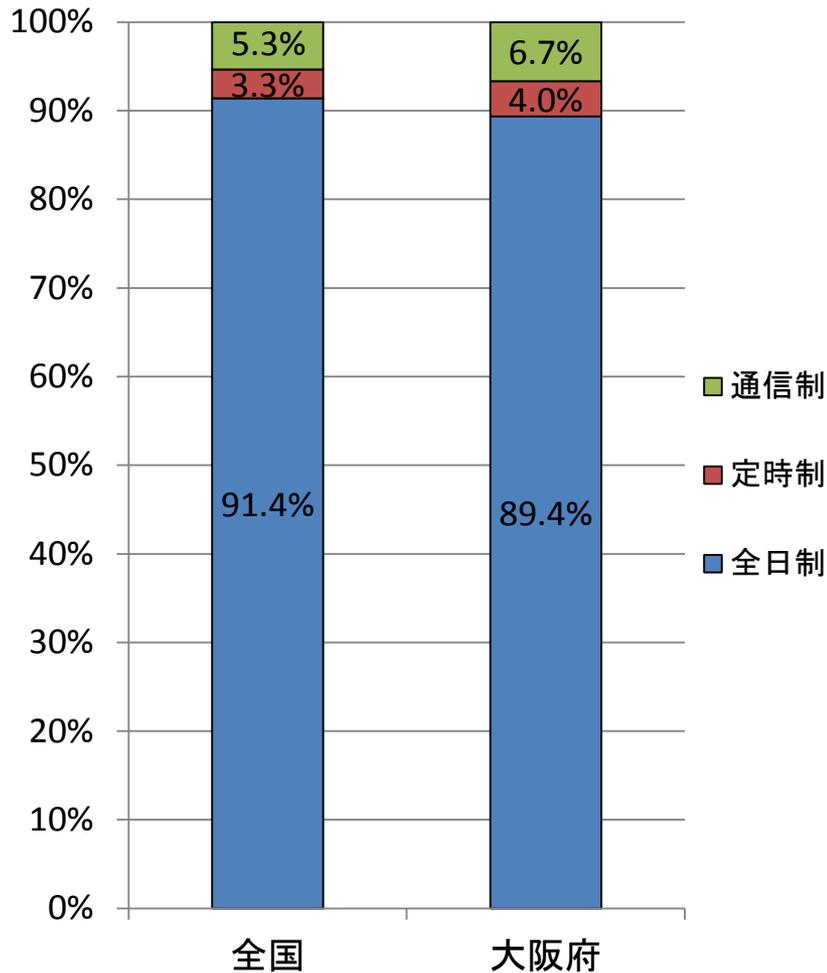
(平成23年5月1日現在)

	全国(公立)	大阪府立
全日制の課程	3,551	133
定時制の課程	651	18
通信制の課程	73	1
合計	4,275	152

※定時制には多部制単位制6校を含む。

出典: 文部科学省「学校基本調査」(平成23年度)

# 課程別生徒数(全国・大阪府)



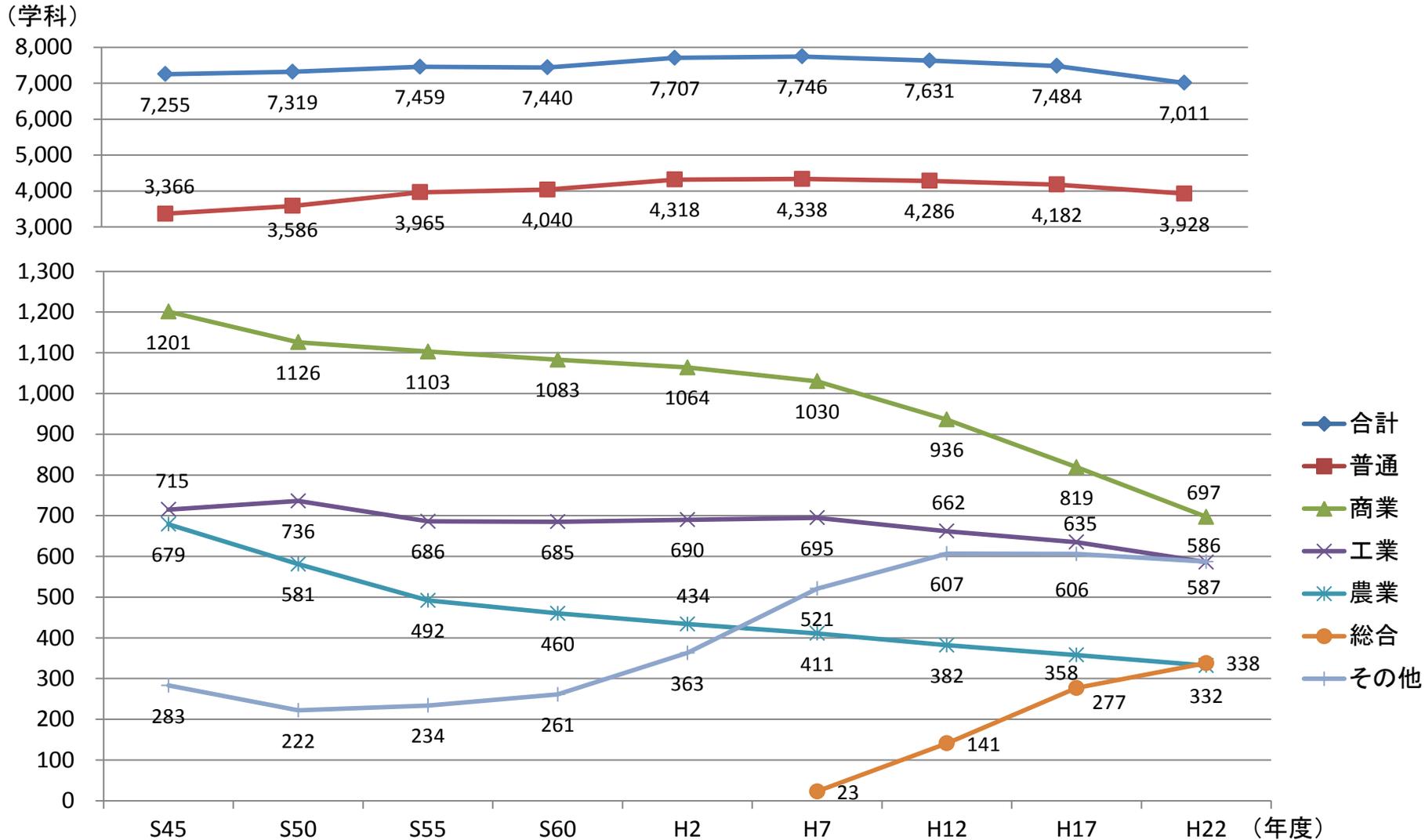
## 【課程別生徒数】

(平成23年5月1日現在)

	全国	大阪府
全日制の課程	3,233,248	217,544
定時制の課程	116,007	9,637
通信制の課程	188,251	16,243
合計	3,537,506	243,424

出典: 文部科学省「学校基本調査」(平成23年度)

# 学科数の推移(全国)



※ 国・公・私立を対象(全日制・定時制のみ)

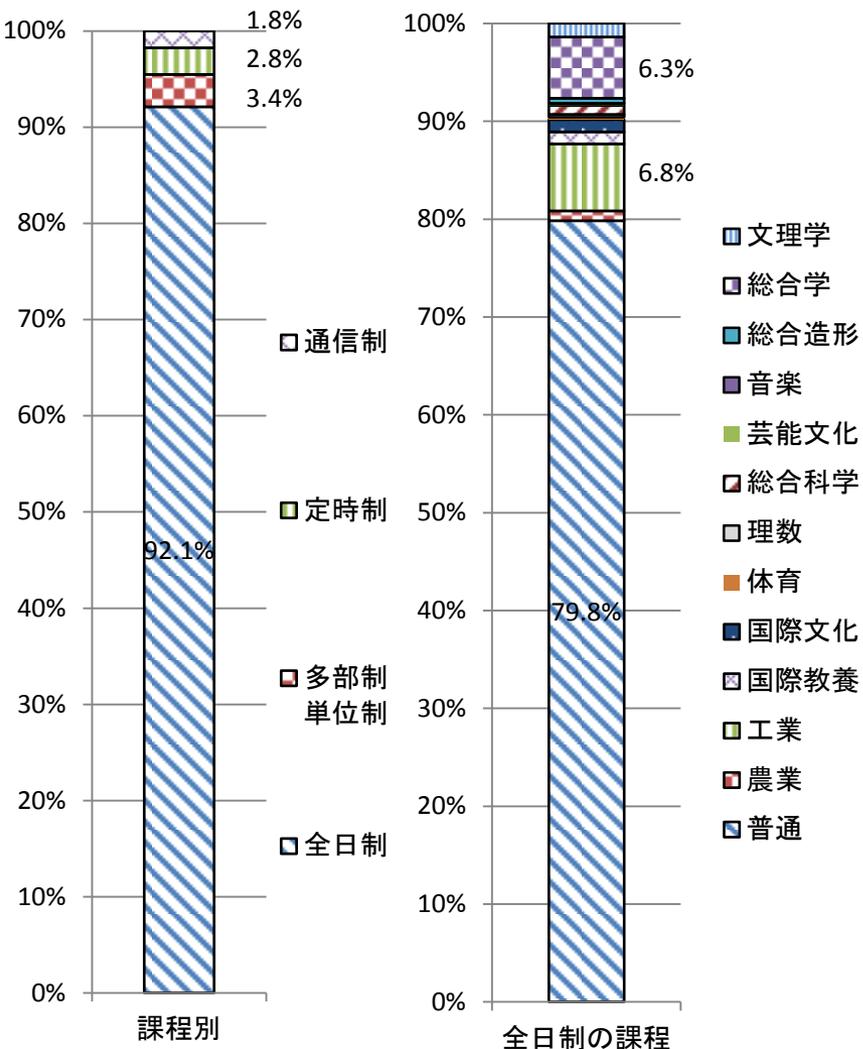
※ 学科数について、同一の学科が全日制・定時制の両方に設置している場合は1として計上。

※ 「その他」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

# 府立高校の課程・学科別生徒数

(平成23年5月1日現在)

## 【課程・学科別生徒数】



全日制の課程		
普通科	92,252	79.8%
農業に関する学科	1,172	1.0%
工業に関する学科	7,882	6.8%
国際教養科	1,429	1.2%
国際文化科	1,428	1.2%
体育科	315	0.3%
理数科	314	0.3%
総合科学科	1,081	0.9%
芸能文化科	119	0.1%
音楽科	120	0.1%
総合造形科	595	0.5%
総合学科	7,250	6.3%
文理学科	1,602	1.4%
合計	115,559	

多部制単位制	
I部(普通科)	1,204
I部(総合学科)	1,238
II部(普通科)	512
II部(総合学科)	585
III部(普通科)	278
III部(総合学科)	432
合計	4,249

定時制の課程	
普通科	1,907
総合学科	1,561
合計	3,468

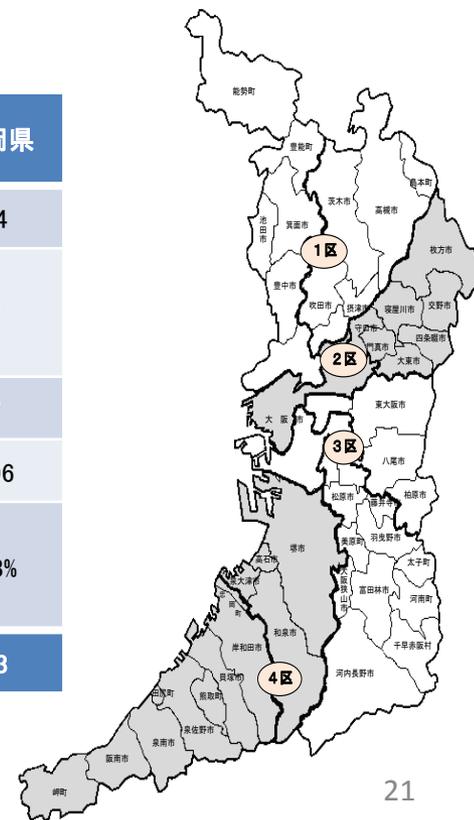
通信制の課程	
合計	2,202

# 通学区域(主要都府県・大阪府)

- 大阪府では、学区改編にかかる学校教育審議会答申(平成17年5月)を踏まえ、学校の選択幅の拡大や、学区間の学校数の不均衡是正等を理由に、平成19年度から4学区で入学者選抜を実施している。
- 「大阪府立学校条例」では、平成26年度選抜から通学区域を府内全域へと設定を見直すこととしている。
- 他府県と比較すると、大阪府は政令市立の高等学校が占める割合が高い方である。

## 【主要都府県内の公立高等学校数】

	大阪府	東京都	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	福岡県
都府県立	139	191	143	95	148	54	138	94
政令市立	23 (大阪市22)	—	14	4	14	9	12	5
その他市立	2	0	1	2	1	0	11	7
合計	164	191	158	101	163	63	161	106
政令市割合	14.0% (大阪市 13.4%)	—	8.9%	4.2%	9.5%	16.7%	8.7%	5.3%
通学区域	4	なし	なし	なし	2	6	16	13

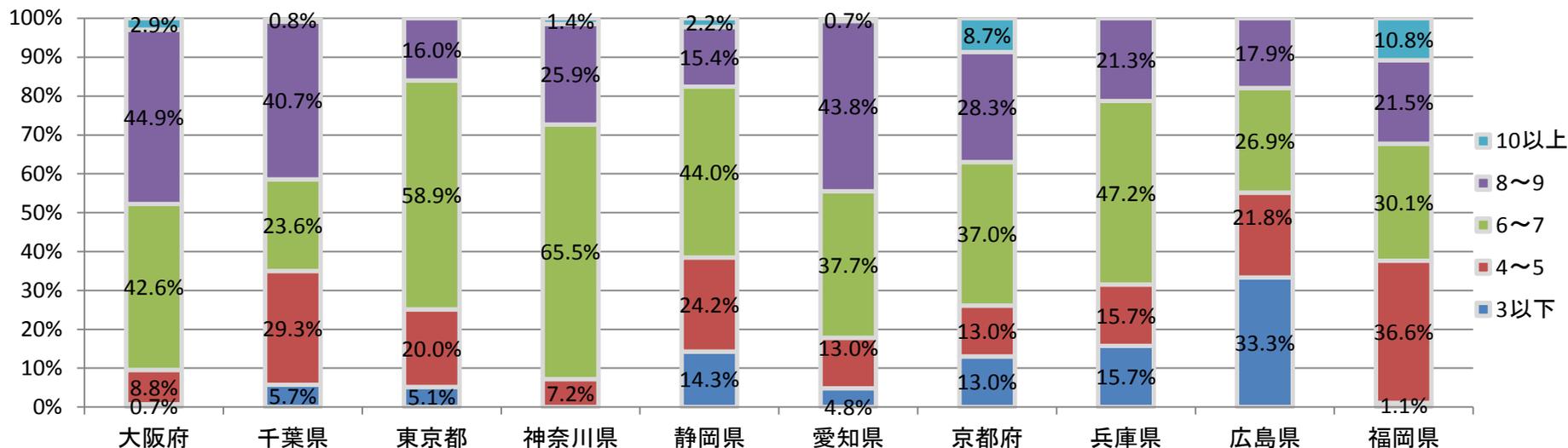


出典:文部科学省「学校基本調査」(平成23年度)

# 学級規模(主要都府県・大阪府)

➤ 全国に比べ、大阪府は8学級以上の割合が高く、4～5学級以下の割合が低い。

【主要都府県の募集学級別学校数の比率】



【主要都府県の募集学級別学校数】

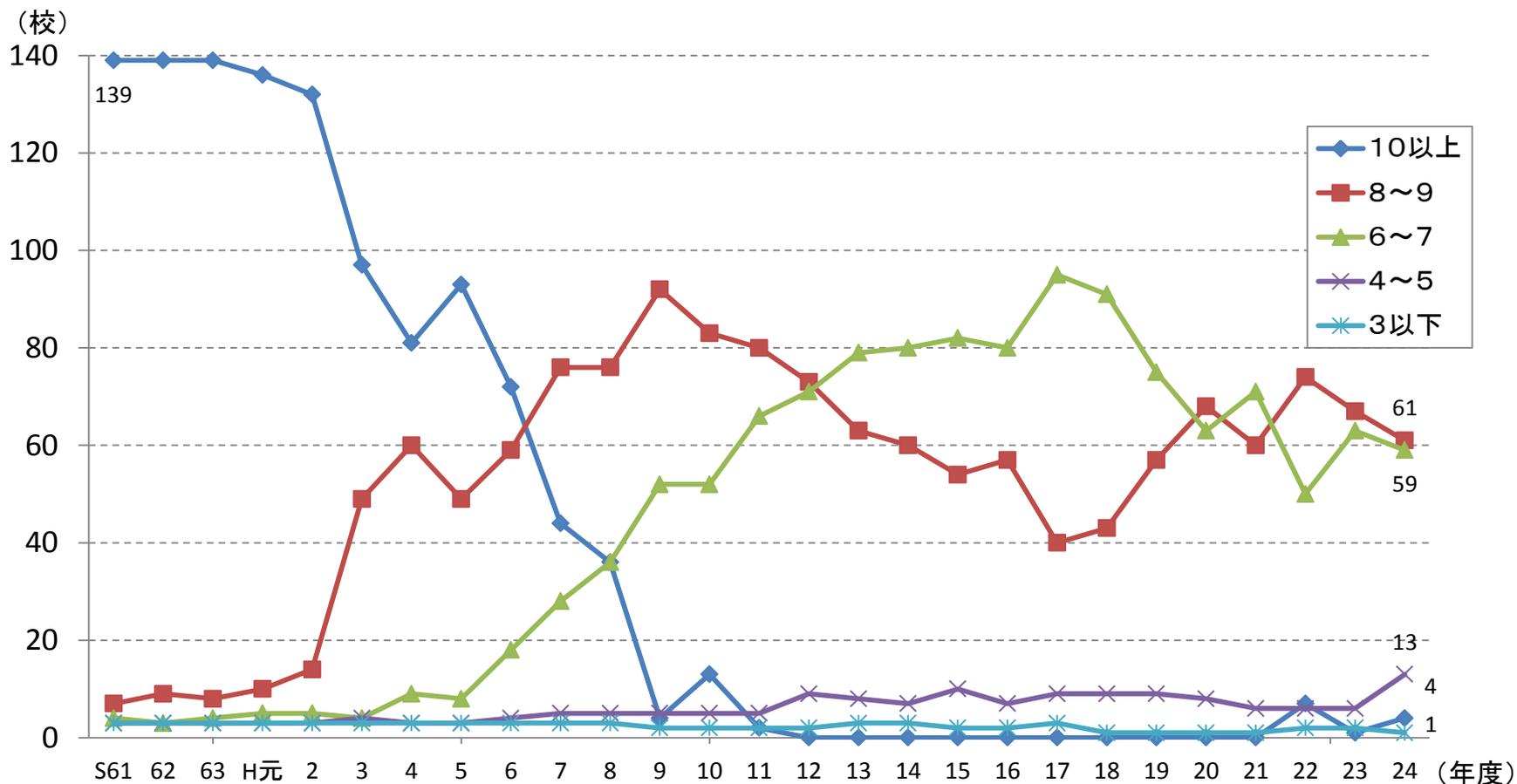
	大阪府	千葉県	東京都	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	広島県	福岡県	全国
3学級以下	1	7	9	0	13	7	6	20	26	1	577
4～5学級	12	36	35	10	22	19	6	20	17	34	862
6～7学級	58	29	103	91	40	55	17	60	21	28	1,114
8～9学級	61	50	28	36	14	64	13	27	14	20	614
10学級以上	4	1	0	2	2	1	4	0	0	10	65
合計	136	123	175	139	91	146	46	127	78	93	3,232

※都府県立、全日制の課程(本校のみ)

出典:「富山県教育委員会 平成24年度 全国公立高等学校 第1学年 募集状況」

# 府立高校の学級規模の推移

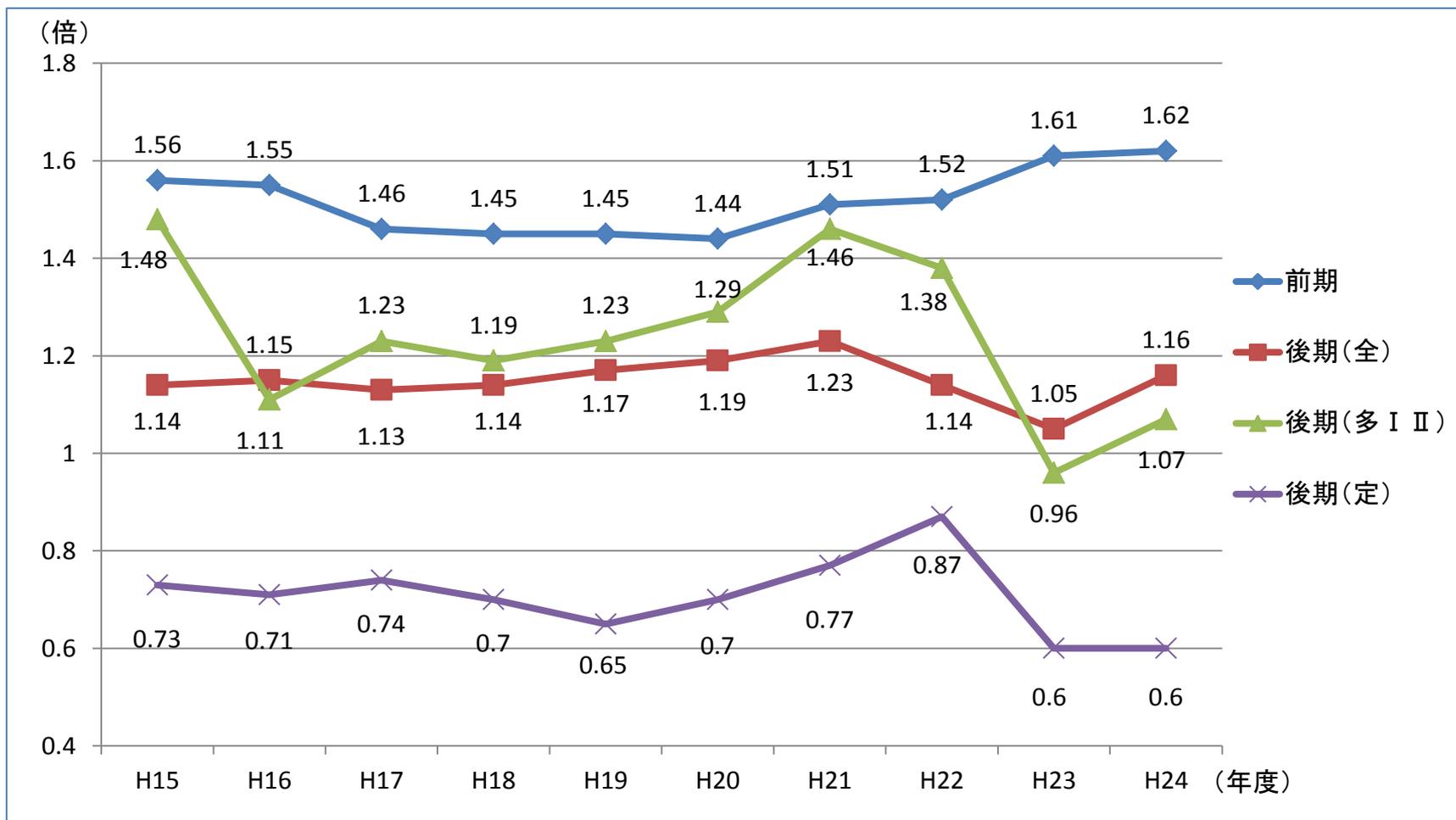
- 平成2年頃まではほとんどの学校が10学級以上の規模。
- その後、学級規模の減少が進み、8～9学級、6～7学級が増加。
- 平成10年頃から中卒者数の減少に伴い、8～9学級が減少し、6～7学級が増加。
- 平成17年頃からは、また学級規模がやや増加傾向にある。



# 公立高校の入学者選抜の状況①(大阪府)

➤ 平成23年度選抜は、私立高校の授業料無償化拡大等の影響により公私間の流動化が起こり、新たに設置された文理学科を含む前期選抜以外は大きく倍率を下げた。

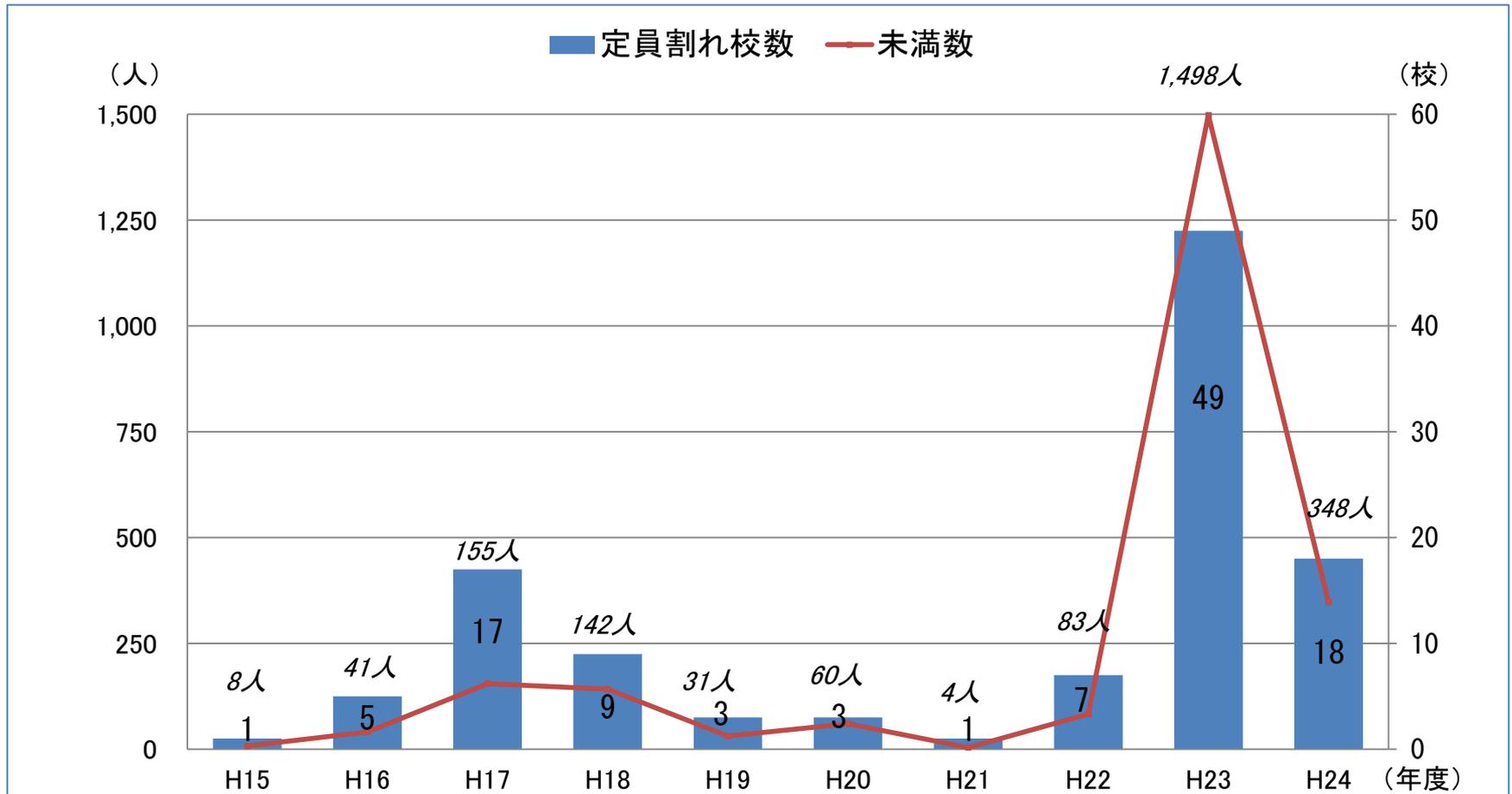
## 【公立高校の入学者選抜における志願倍率の推移】



# 公立高校の入学者選抜の状況②(大阪府)

➤ 志願倍率が大きく下がった平成23年度選抜は、志願割れも突出している。

## 【公立高校(昼間の学校)の志願割れ状況】



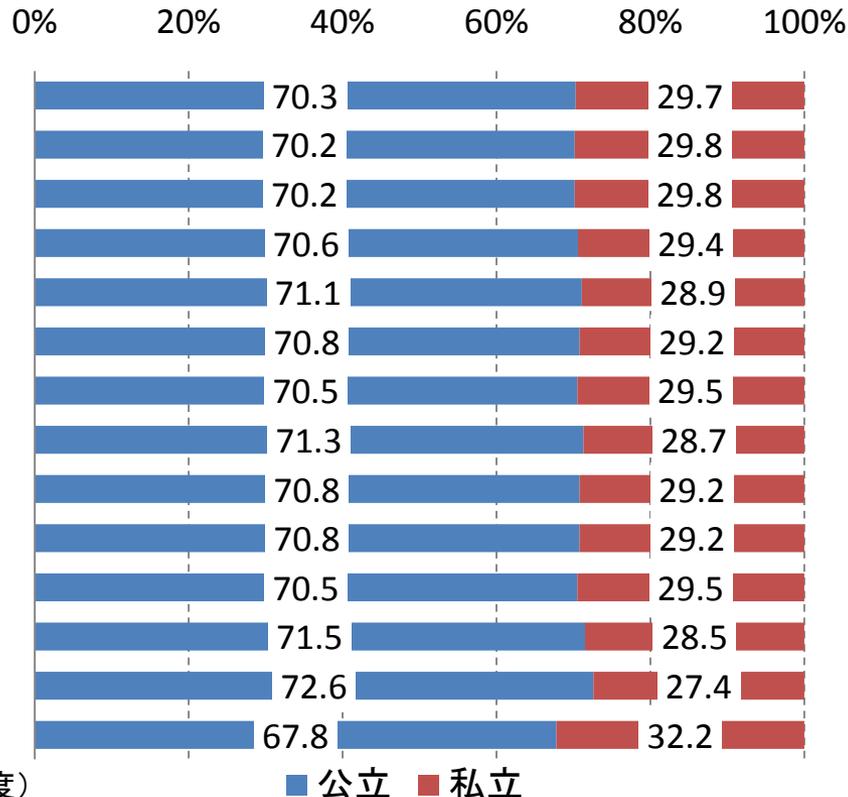
(注)校数・未満数とも二次選抜終了時点のデータ

※大阪府教育委員会調べ

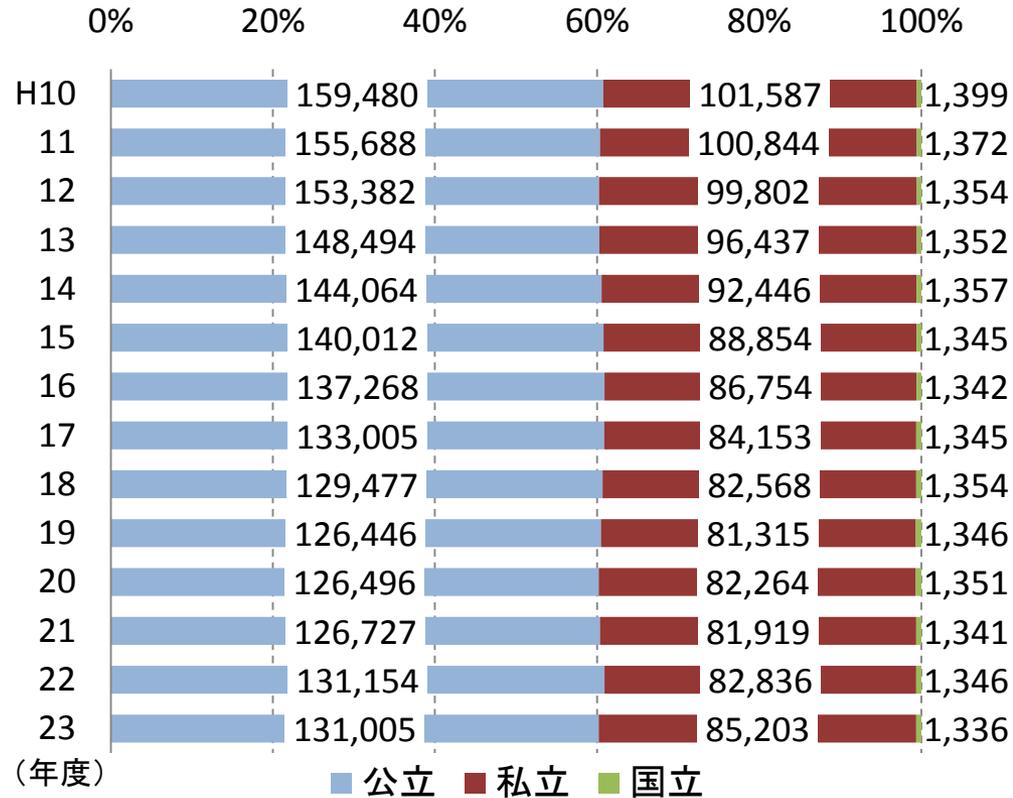
# 高校の公私比率の推移(大阪府)

- 昼間の高等学校の募集人員については、平成23年度選抜から公私受入分担比率(7:3)の設定を廃止した。
- 公立の受入実績比率は、H23年度に初めて7割を下回った。
- 公私の生徒数の比率は、概ね6:4で推移。

昼間の高等学校における  
公立中学校卒業者の公私の受入実績比率の推移



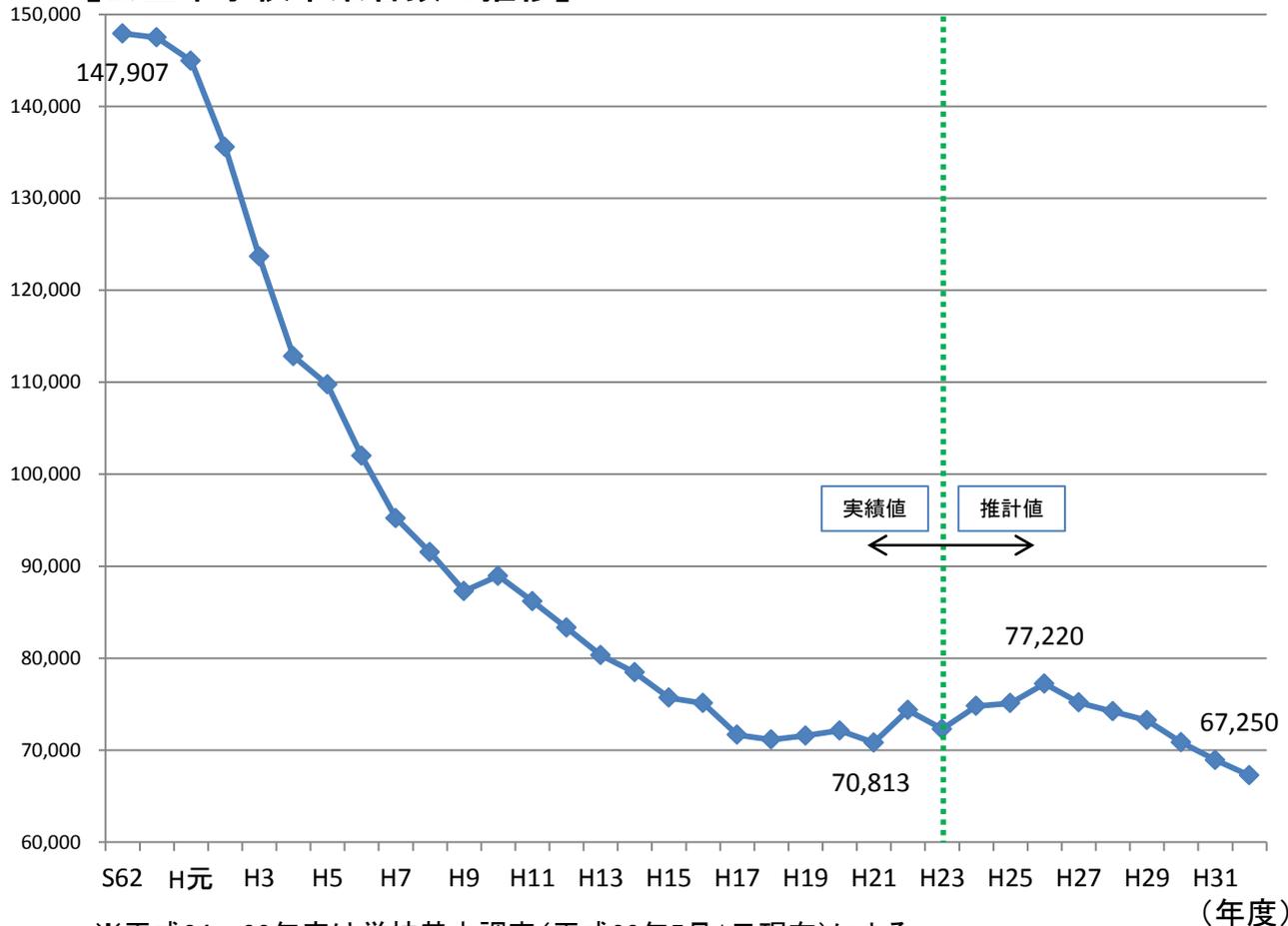
高等学校(全日制)の公私生徒比率の推移



# 公立中学校卒業生数の推移と将来推計(大阪府)

- 平成24年推計ではピーク時(昭和62年)の約半数(50.6%)である。
- 平成26年までは増加し、その後減少が続くと予測される。

(人) 【公立中学校卒業生数の推移】



※平成24～32年度は学校基本調査(平成23年5月1日現在)による府内公立小・中学校在籍児童・生徒数から推計。

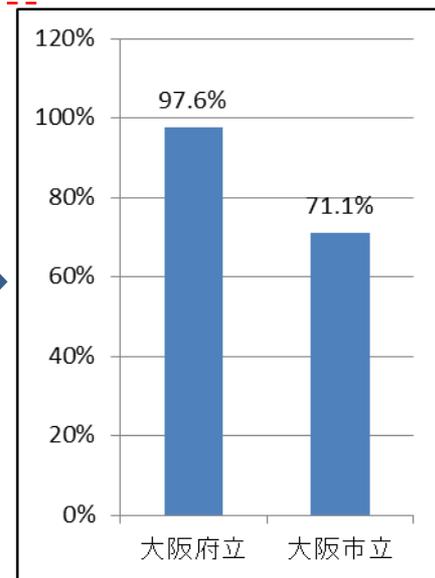
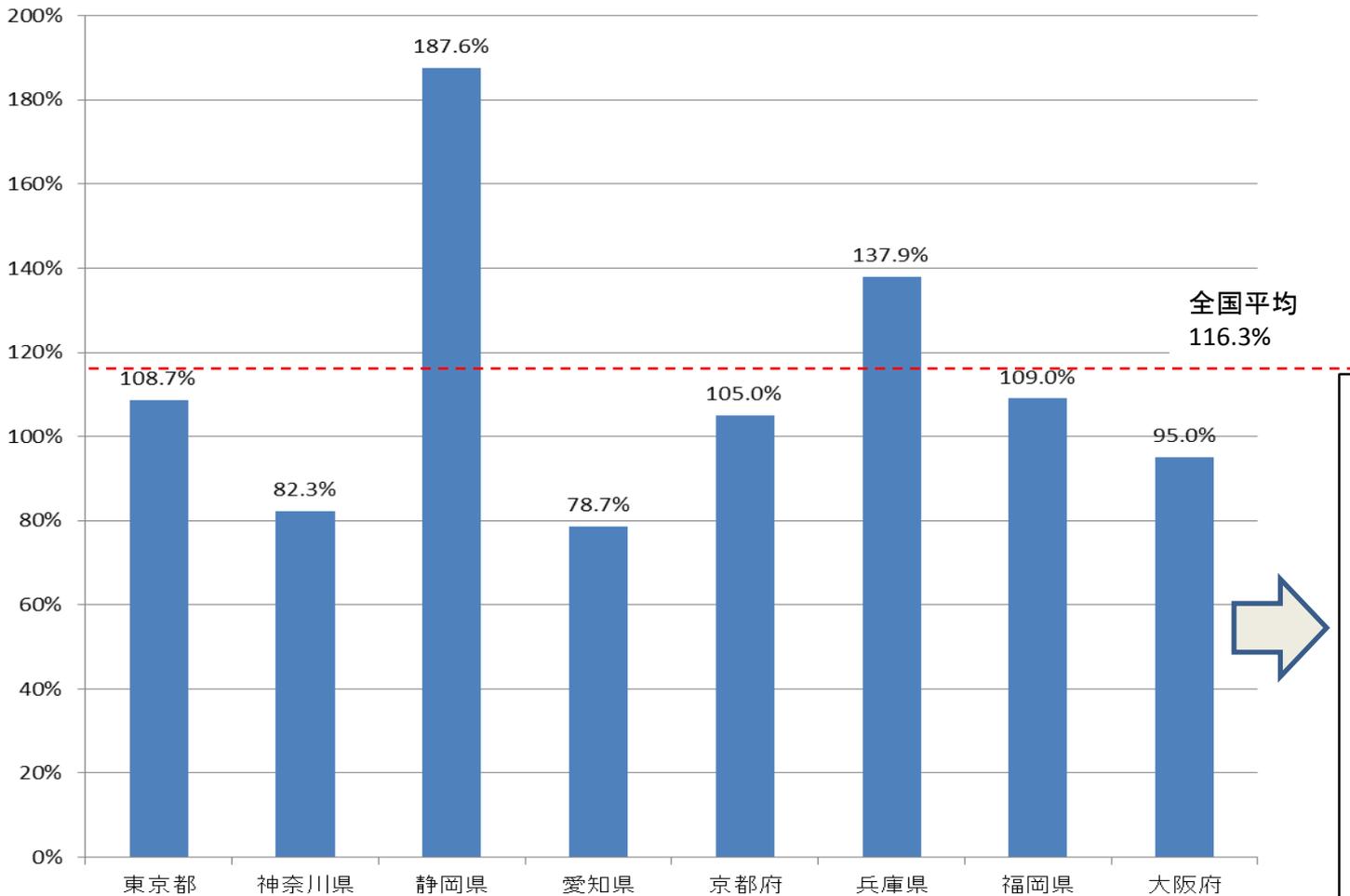
【公立中学校卒業生数】

選抜年度	卒業生数	対ピーク時
昭和62年	147,907 (実績)	100%
⋮	⋮	⋮
平成19年	71,570 (実績)	48.4%
平成20年	72,123 (実績)	48.8%
平成21年	70,813 (実績)	47.9%
平成22年	74,348 (実績)	50.3%
平成23年	72,298 (実績)	48.9%
平成24年	74,800	50.6%
平成25年	75,100	50.8%
平成26年	77,220	52.2%
平成27年	75,170	50.8%
平成28年	74,210	50.2%
平成29年	73,240	49.5%
平成30年	70,850	47.9%
平成31年	68,910	46.6%
平成32年	67,250	45.5%

# ICTの整備と活用状況(教員用)

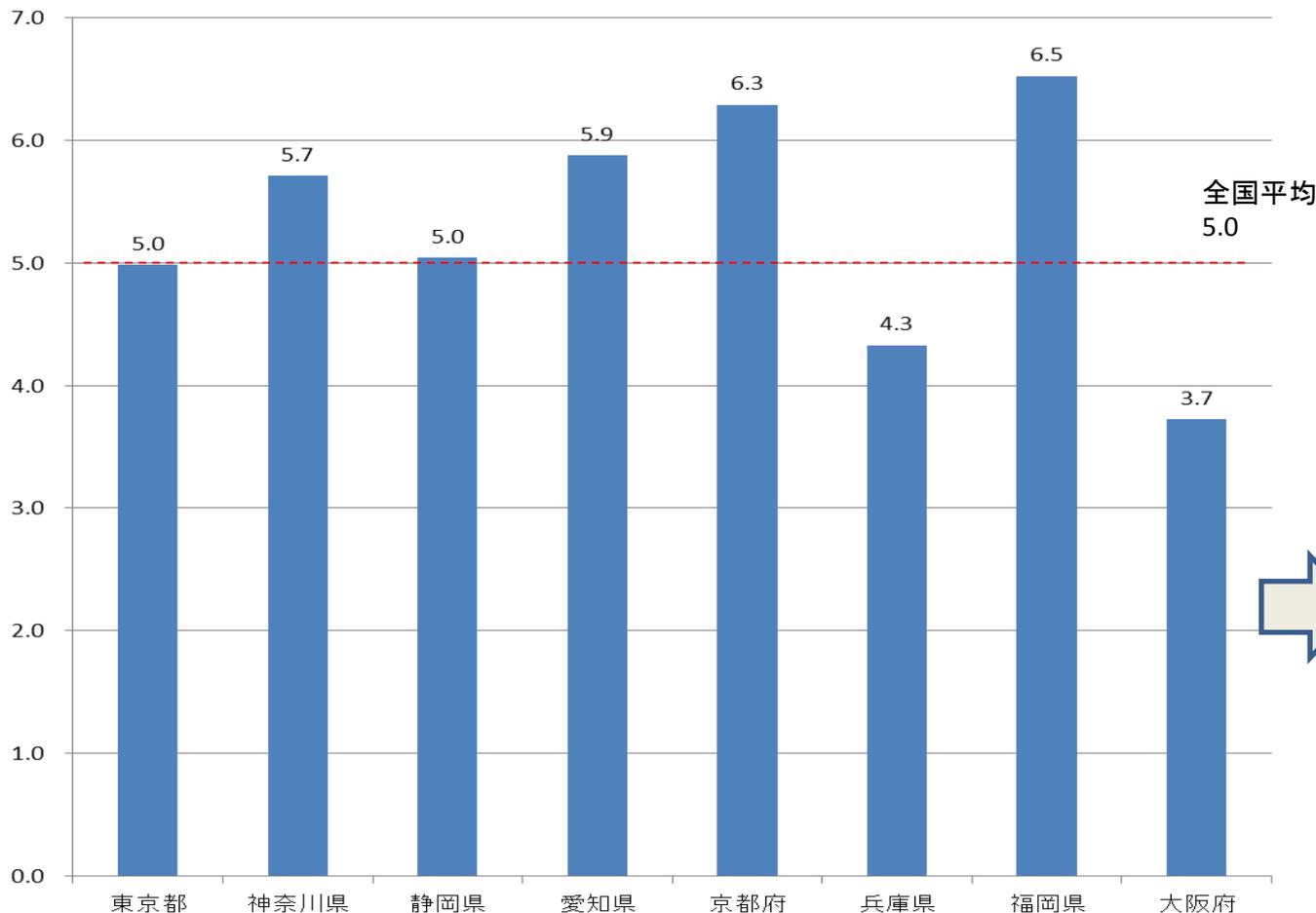
## 教員の校務用コンピュータ整備率%

※「教員の校務用コンピュータ整備率」は、「教員の校務用コンピュータ台数」を教員数で除したものの。  
(平成23年3月1日現在)



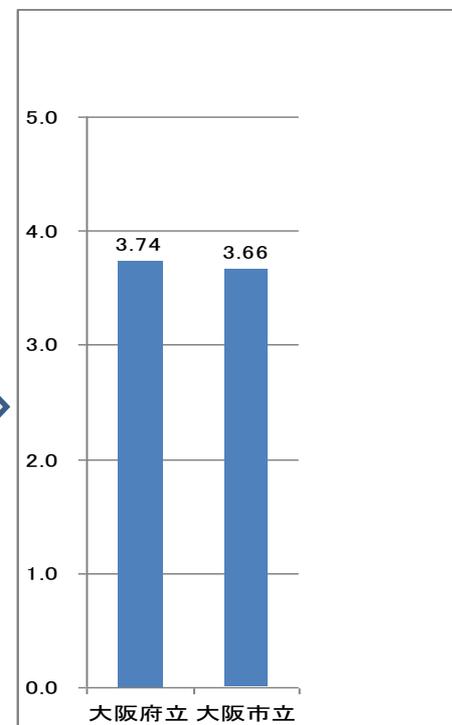
# ICTの整備と活用状況(生徒用)

## 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数 人／台

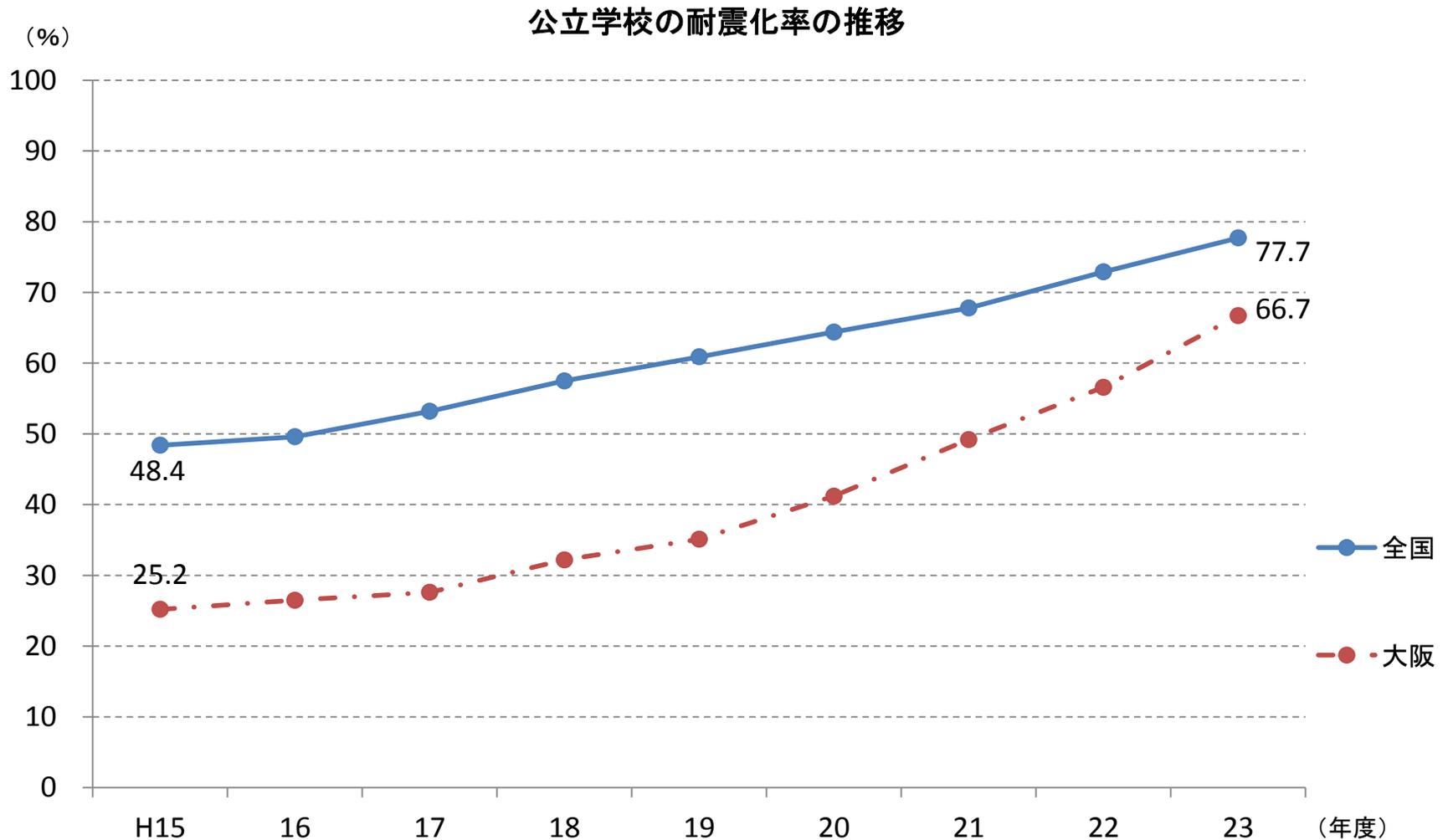


※「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数」とは、平成22年5月1日現在の児童生徒数を「教育用コンピュータ総台数」で除したものの。

(平成23年3月1日現在)



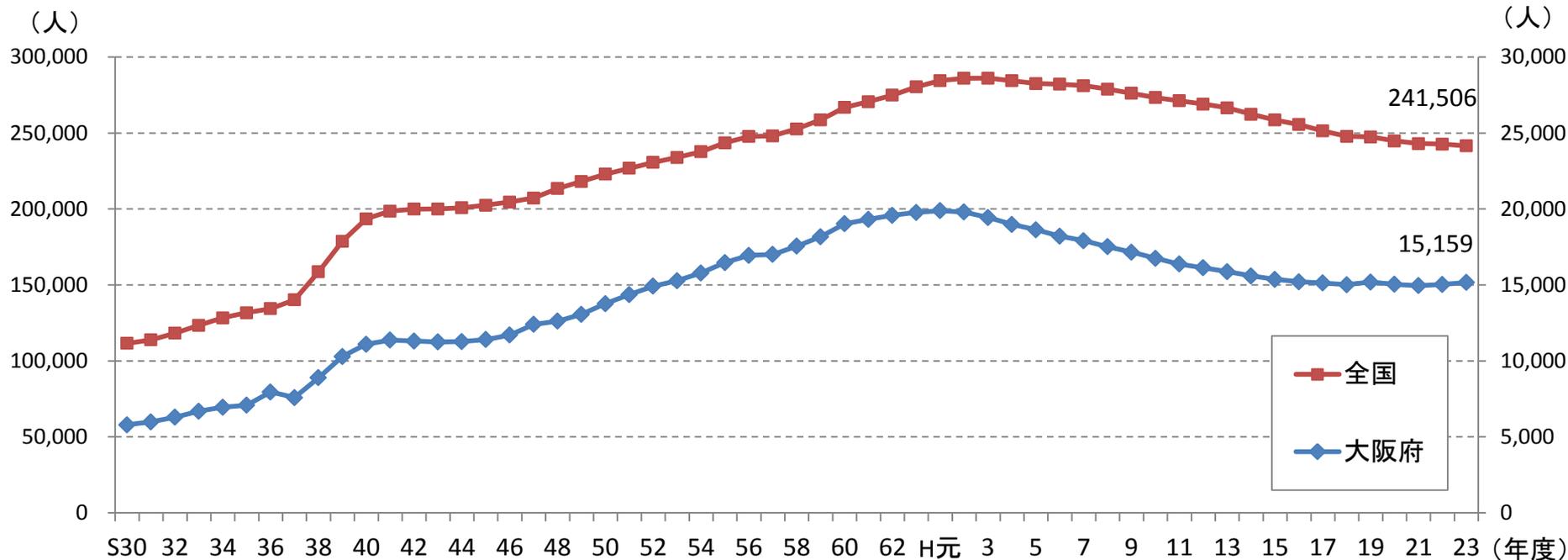
# 施設設備の耐震化率(全国・大阪府)



出典:文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」(平成23年8月)

# 教職員数(全国・大阪府)

## 【教員数の推移】



※国立、公立、私立の計。

※「教員」は、校長、教頭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭を含む。

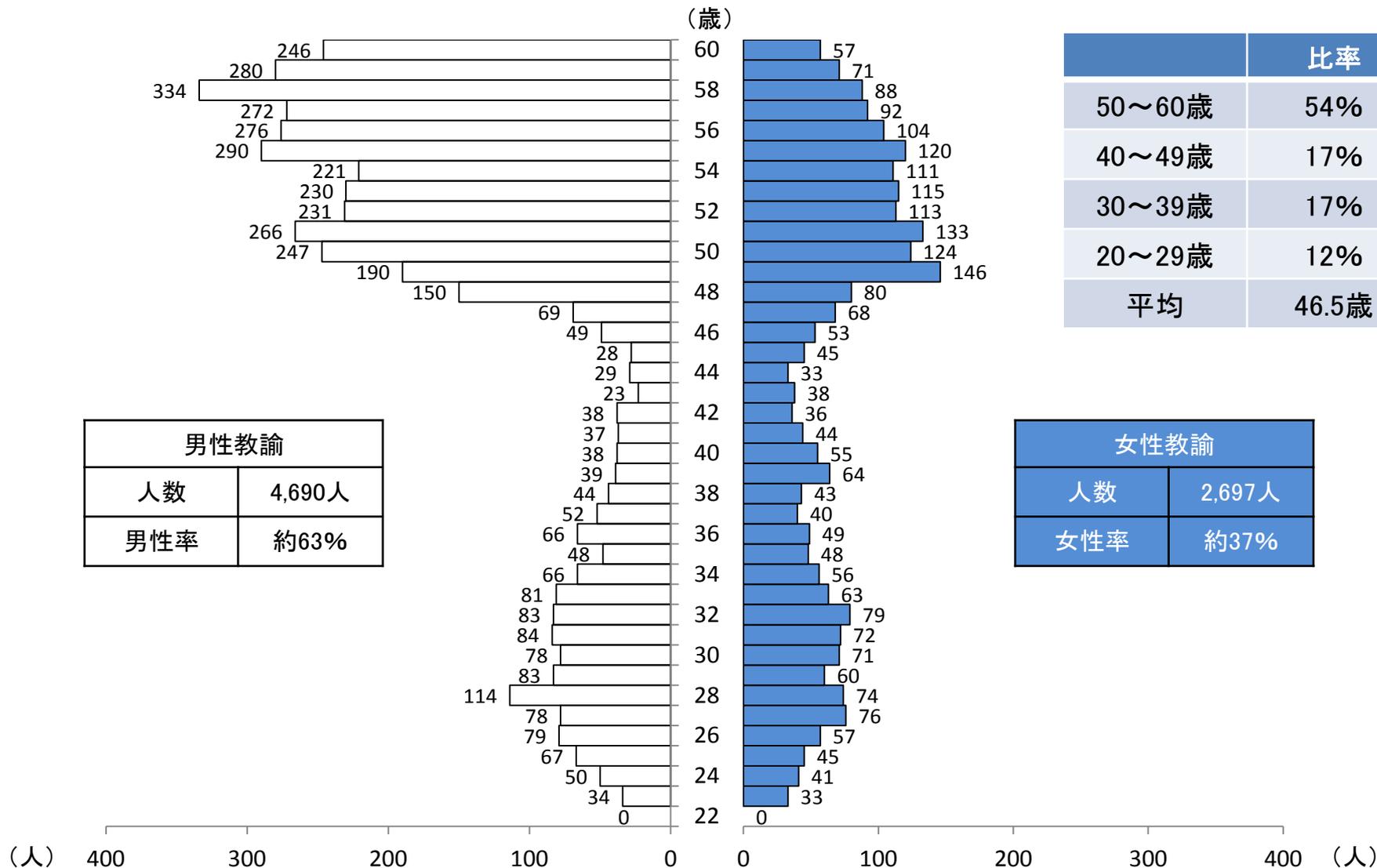
## 【府立高校の教職員数】

（平成23年5月1日現在）

勤務区分	フルタイム勤務者														再任用短時間勤務者						合計 (A)+(B)	
	校長 准校長	教頭 教諭	講師	小計	養護 教諭	養護 助教諭	小計	実習 助手	臨時 実習助手	小計	事務 職員	臨時 主事	小計	技術 職員	計 (A)	教諭	養護 教諭	実習 助手	事務 職員	技術 職員		計 (B)
人数	154	7,394	749	8,143	237	37	274	404	0	404	433	0	433	181	9,589	603	4	16	113	71	807	10,396

# 教諭の年齢構成(大阪府)

## 府立高等学校教諭の男女別年齢構成

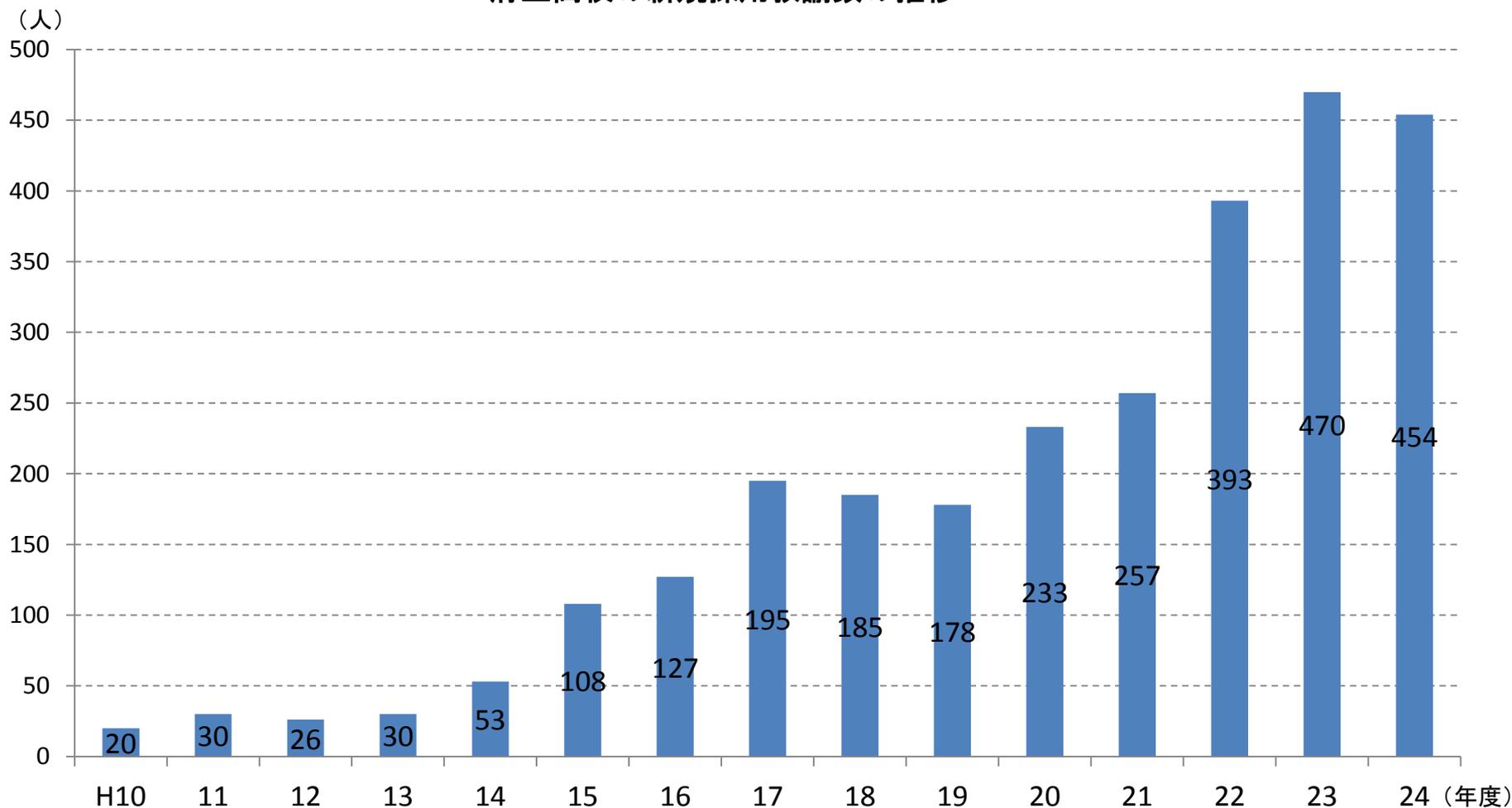


※現員:平成23年5月1日現在、年齢:平成24年3月31日時点

※大阪府教育委員会調べ

# 教諭の新規採用の状況(大阪府)

府立高校の新規採用教諭数の推移

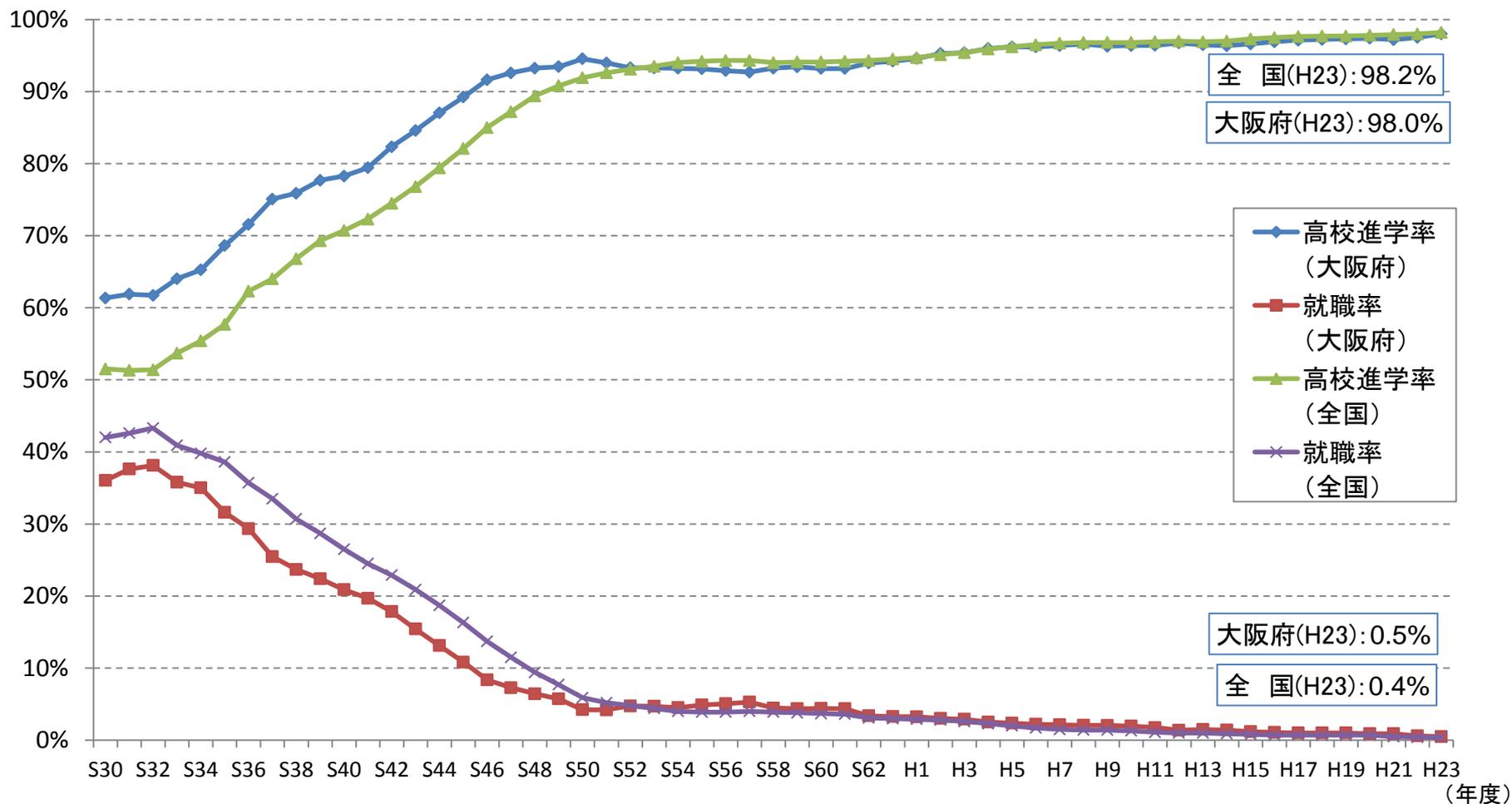


※大阪府教育委員会調べ

### Ⅲ 生徒をめぐる状況

# 中学校卒業後の進学率・就職率の推移(全国・大阪府)

- 昭和50年頃までは、進学率は大阪府が全国を上回っている。
- 以降は、全国・大阪府ともほぼ同じような増減傾向。(高等学校等への進学率約98%)

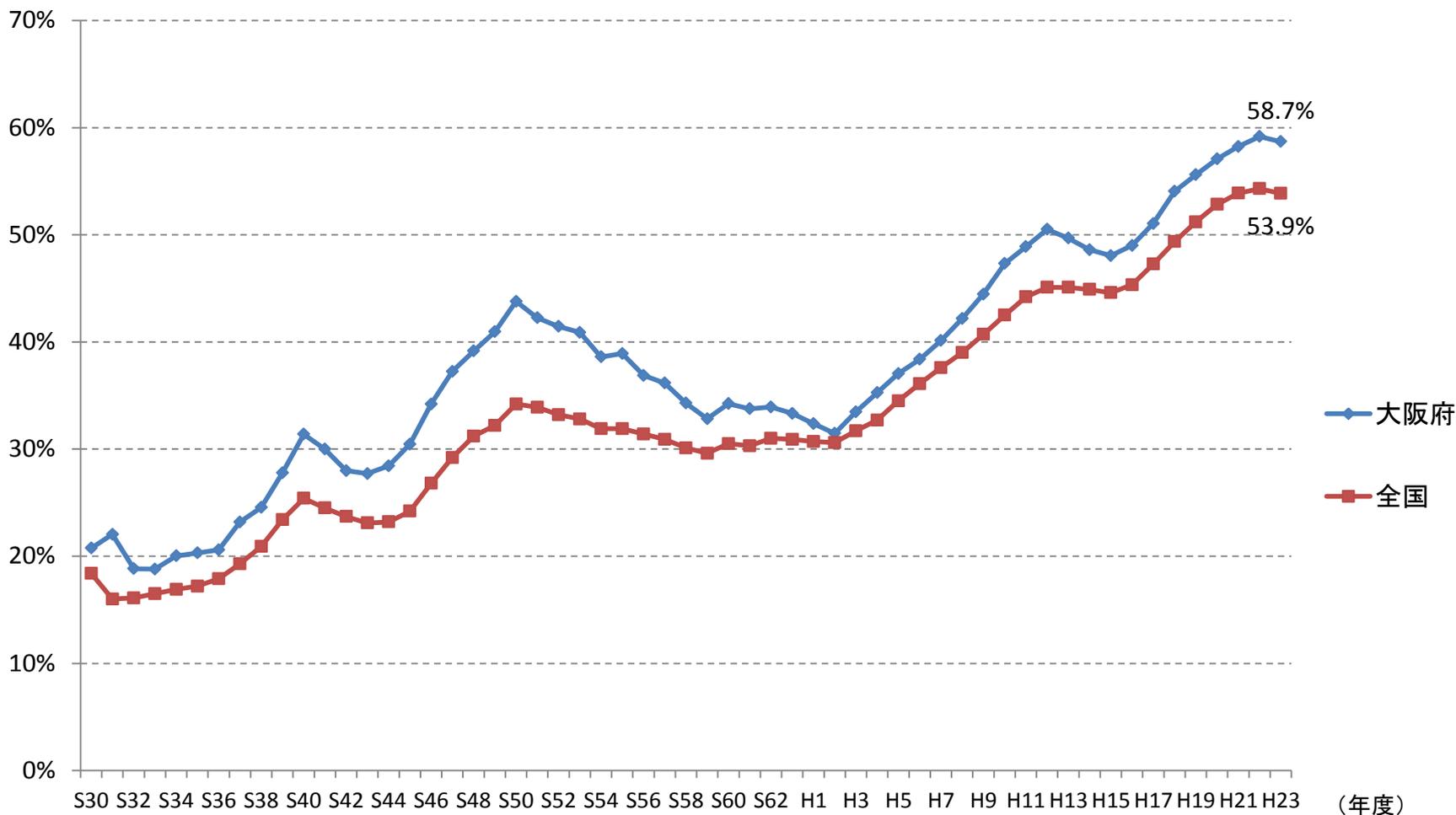


※高校進学率＝高等学校等の進学者／中学校等の卒業者  
 ※国立・公立・私立の計(全日制・定時制のみ)

出典:文部科学省「学校基本調査」

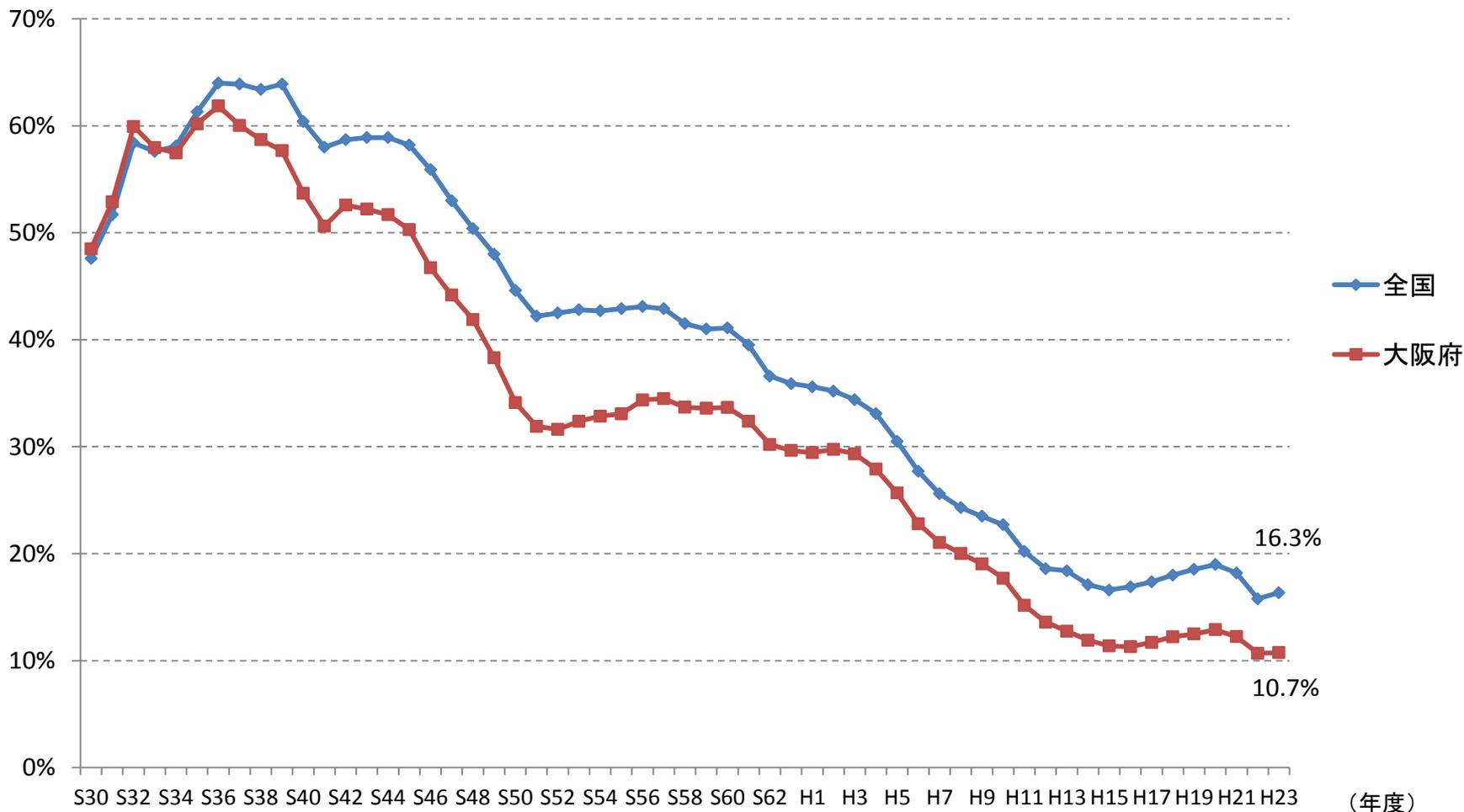
# 高校卒業後の進学率の推移(全国・大阪府)

- 全体的な傾向は、全国・大阪府ともほぼ同じような増減傾向にあり、大阪府が全国に比べ進学率が高い傾向にある。



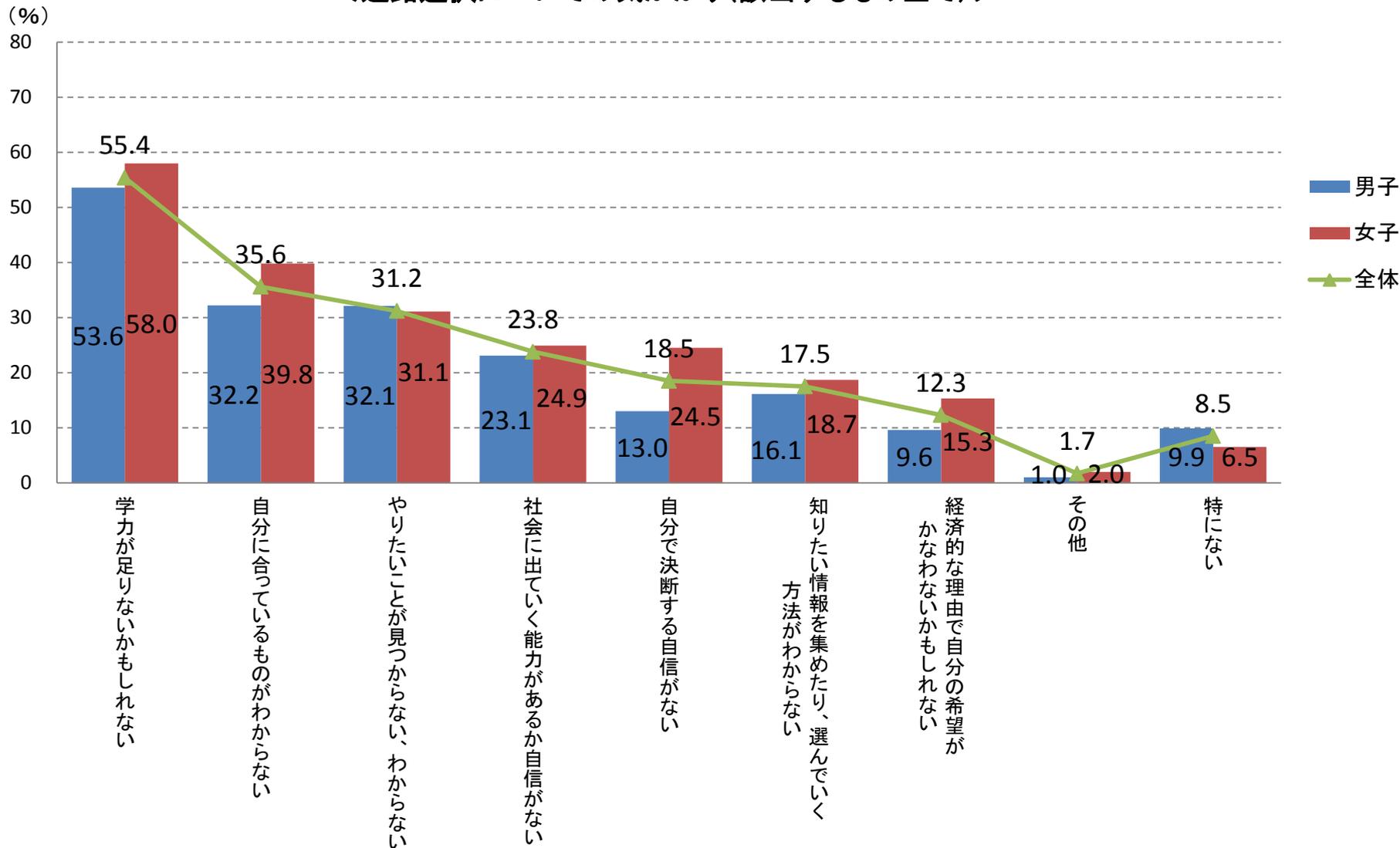
# 高校卒業後の就職率の推移(全国・大阪府)

- 全体的な傾向は、全国・大阪府ともほぼ同じような増減傾向にあり、大阪府が全国に比べ就職率が低い傾向にある。



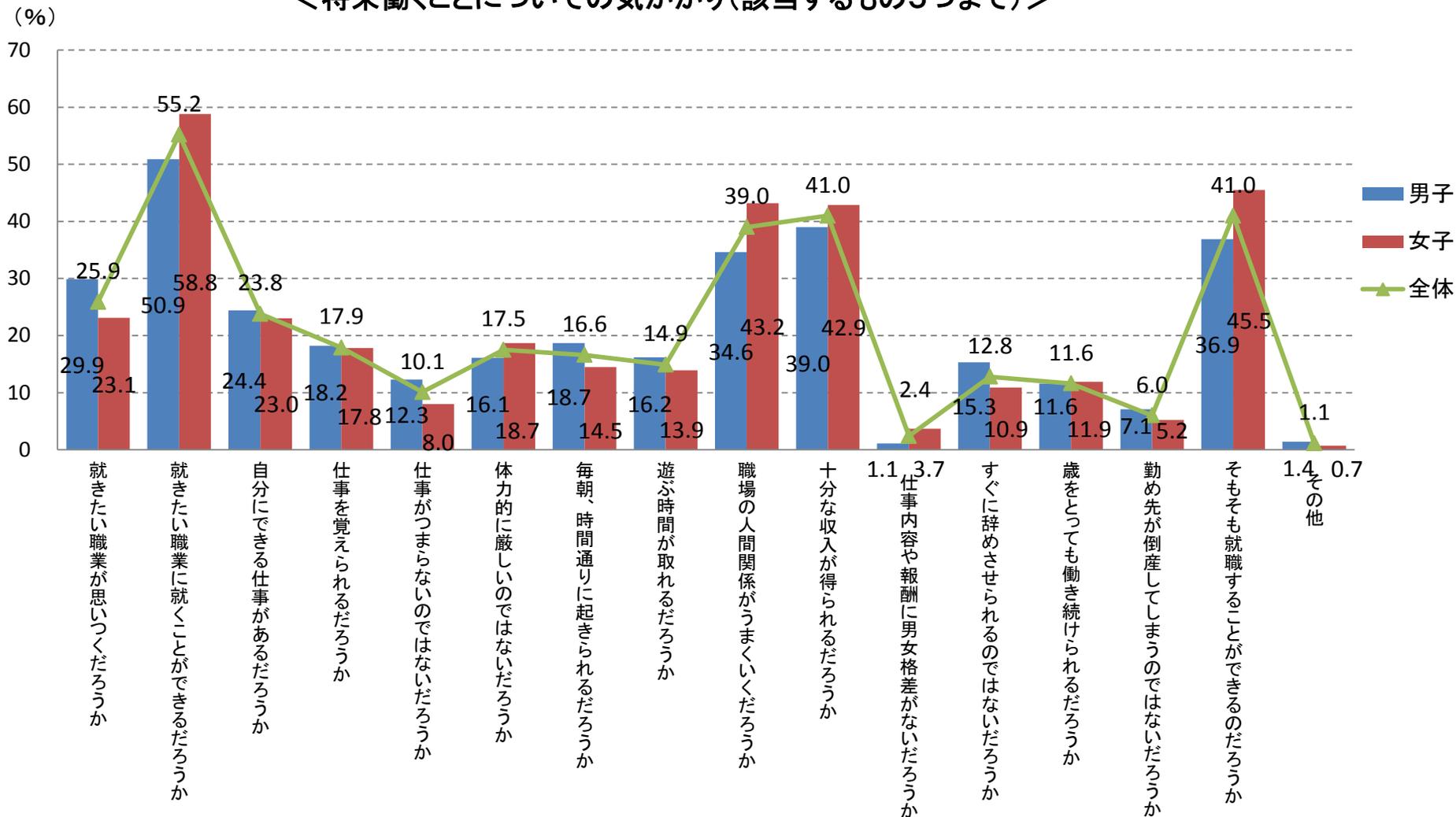
# 高校生の進路に関する意識①(全国)

＜進路選択についての気がかり(該当するもの全て)＞



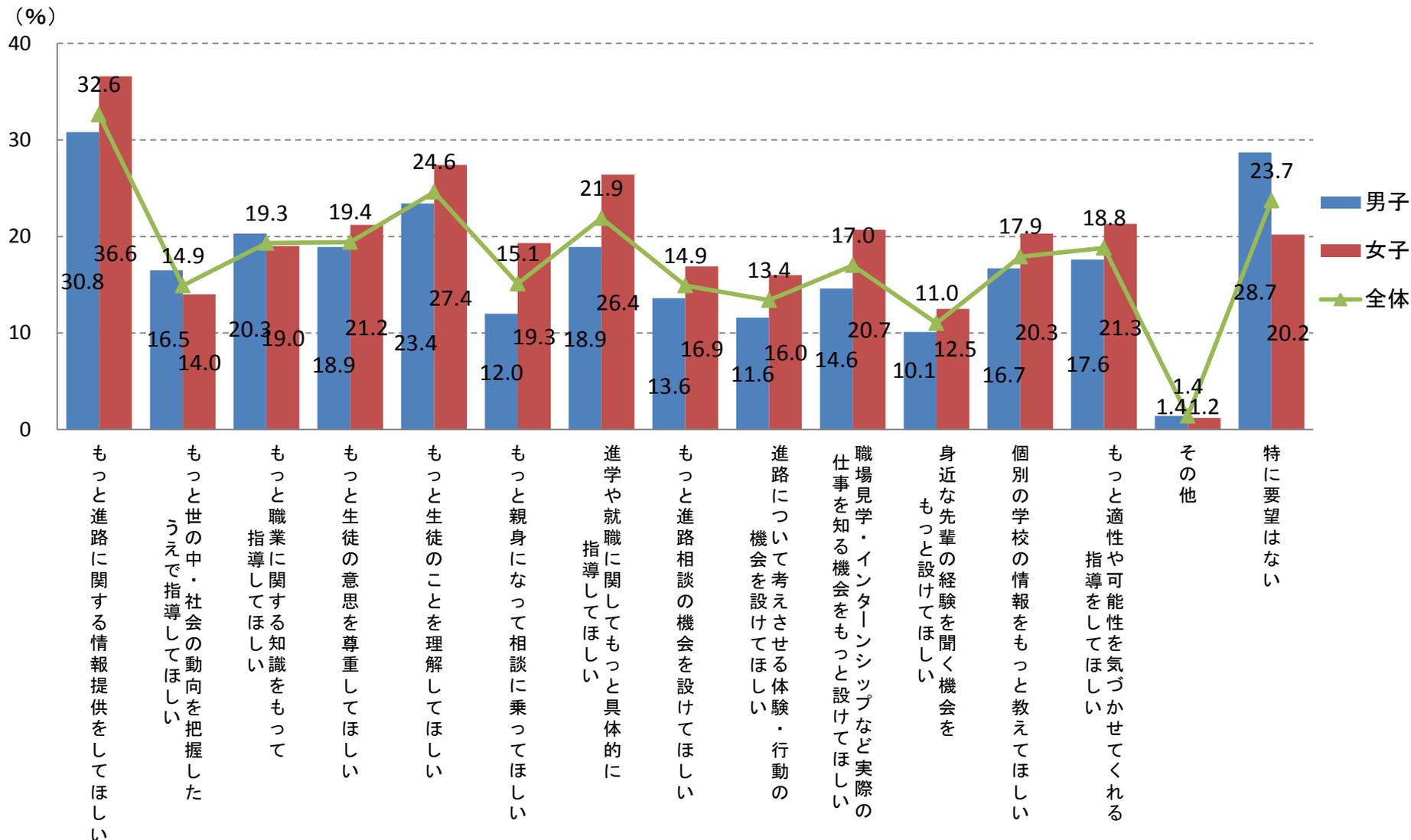
# 高校生の進路に関する意識②(全国)

＜将来働くことについての気がかり(該当するもの5つまで)＞



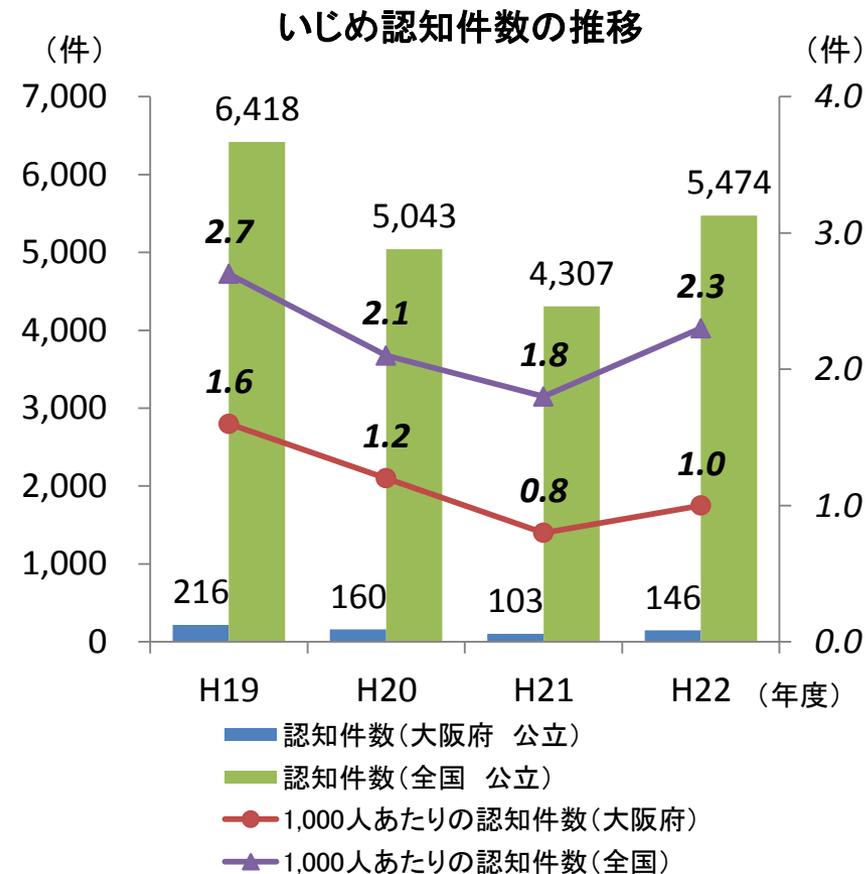
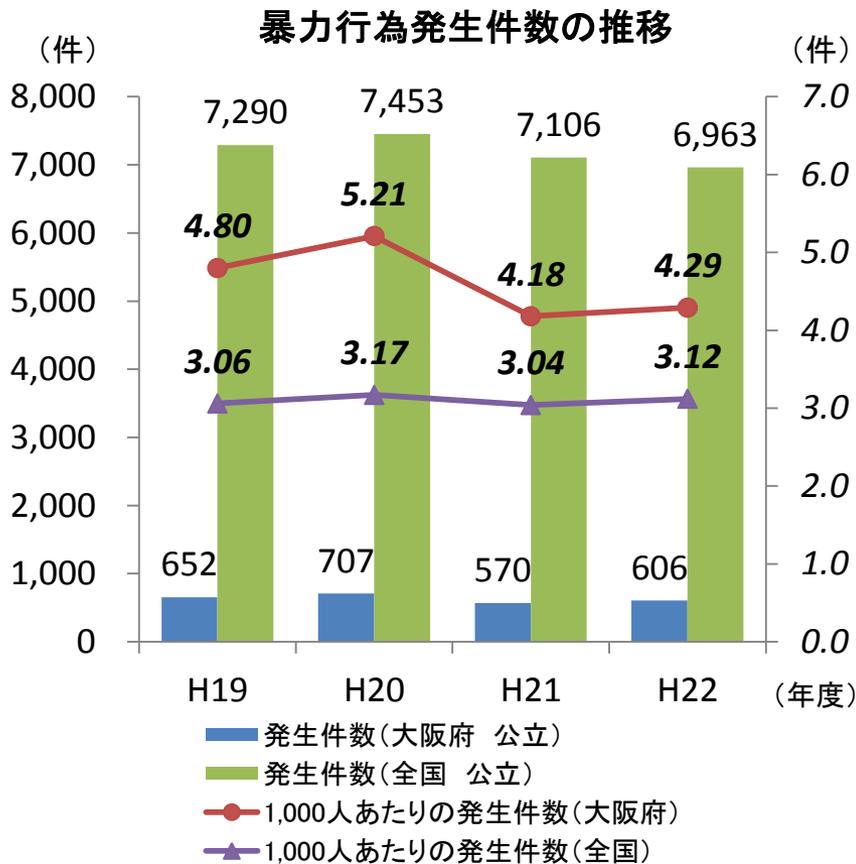
# 高校生の進路に関する意識③(全国)

<進路指導について要望すること(該当するもの全て)>



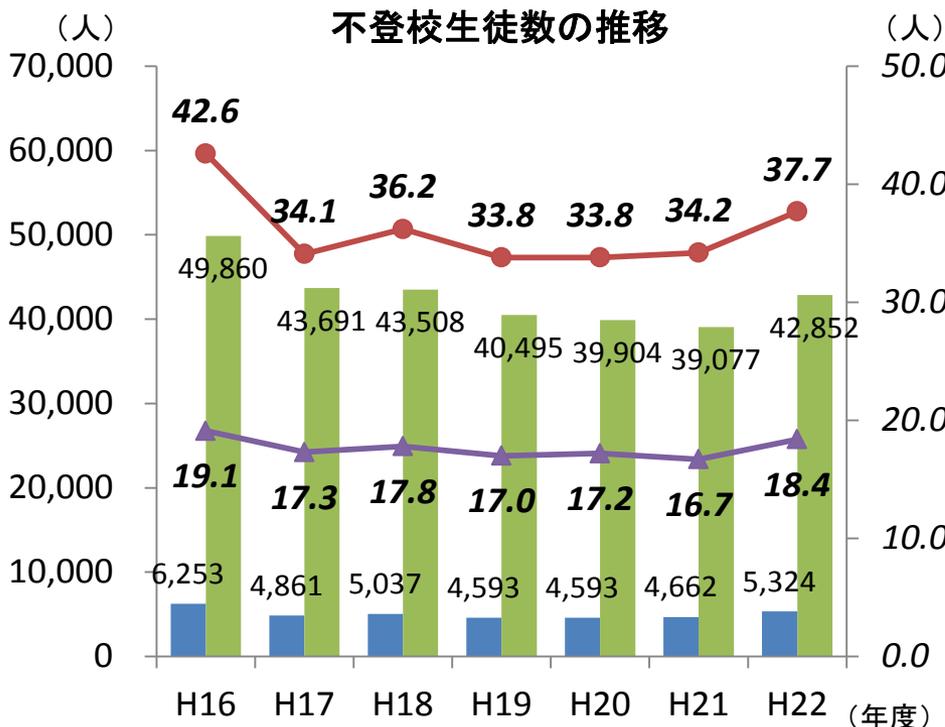
# 暴力行為・いじめの状況(全国・大阪府)

- 暴力行為の発生件数は、全国・大阪府とも概ね横ばい。
- 大阪府の暴力行為の発生率は、全国平均を上回っている。
- いじめの認知件数は減少傾向だったが、平成22年度は増加。
- 大阪府のいじめの発生率は、全国平均を下回っている。

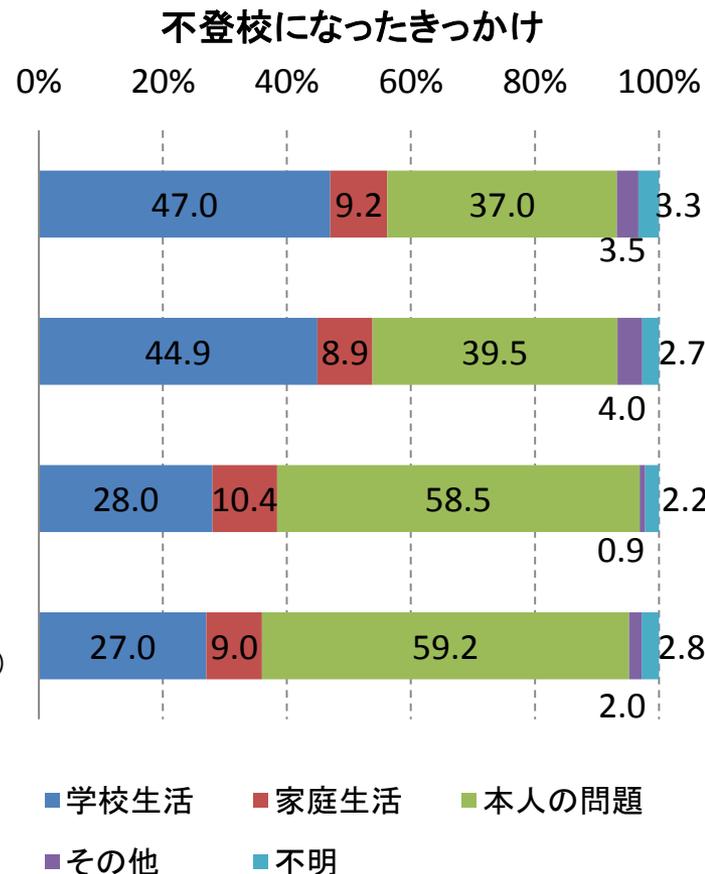


# 不登校の状況①(全国・大阪府)

- 不登校生徒数は、全国・大阪府とも概ね横ばい。
- 大阪府の不登校生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- 不登校のきっかけは、大阪府では「本人の問題」に係る割合が増加傾向。



- 不登校生徒数(大阪府 公立)
- 不登校生徒数(全国 公立)
- 1,000人あたりの不登校生徒数(大阪府 公立)
- ▲ 1,000人あたりの不登校生徒数(全国 公立)



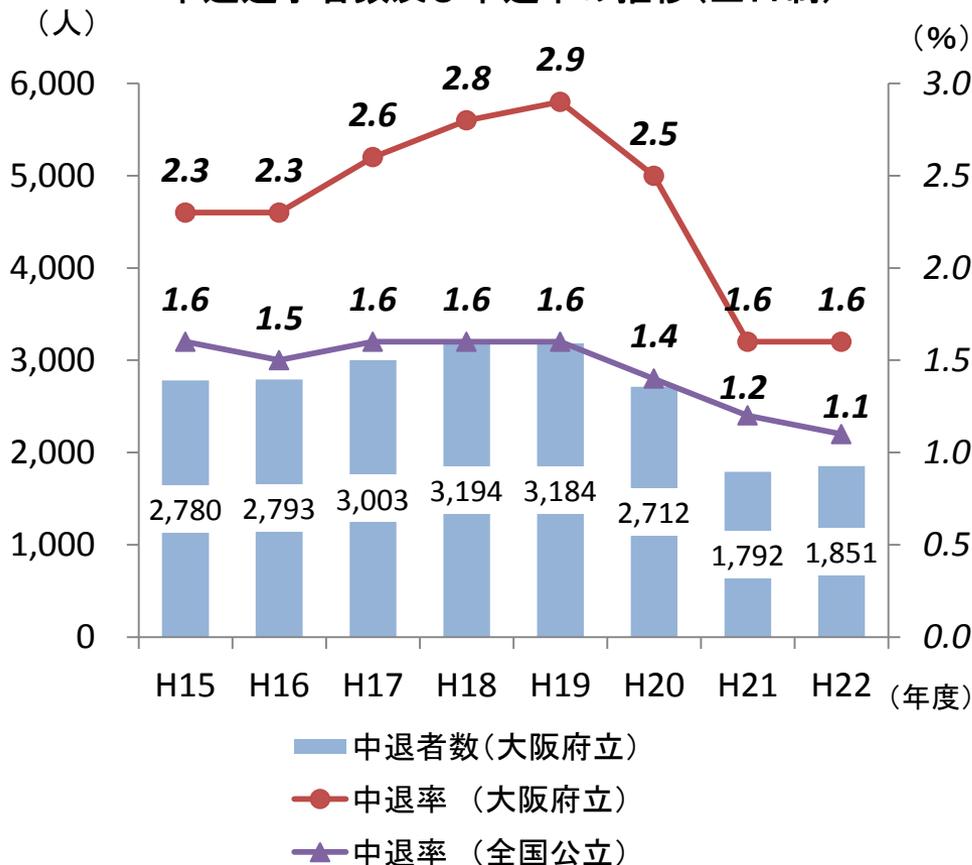
- 学校生活
- 家庭生活
- 本人の問題
- その他
- 不明



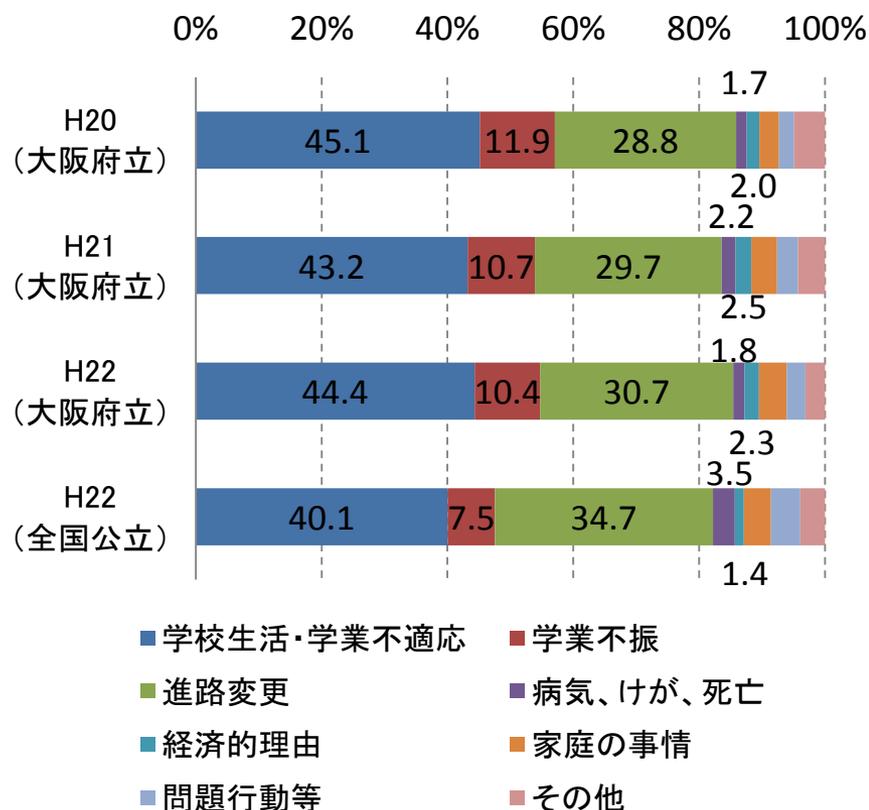
# 中途退学の状況①(全国・大阪府)

- 中退率は、全国・大阪府とも近年は減少傾向。
- 事由別では、大阪府は「学校生活・学業不適應」、「学業不振」の割合が全国と比べて多い。

中途退学者数及び中退率の推移(全日制)



中退事由の割合の推移

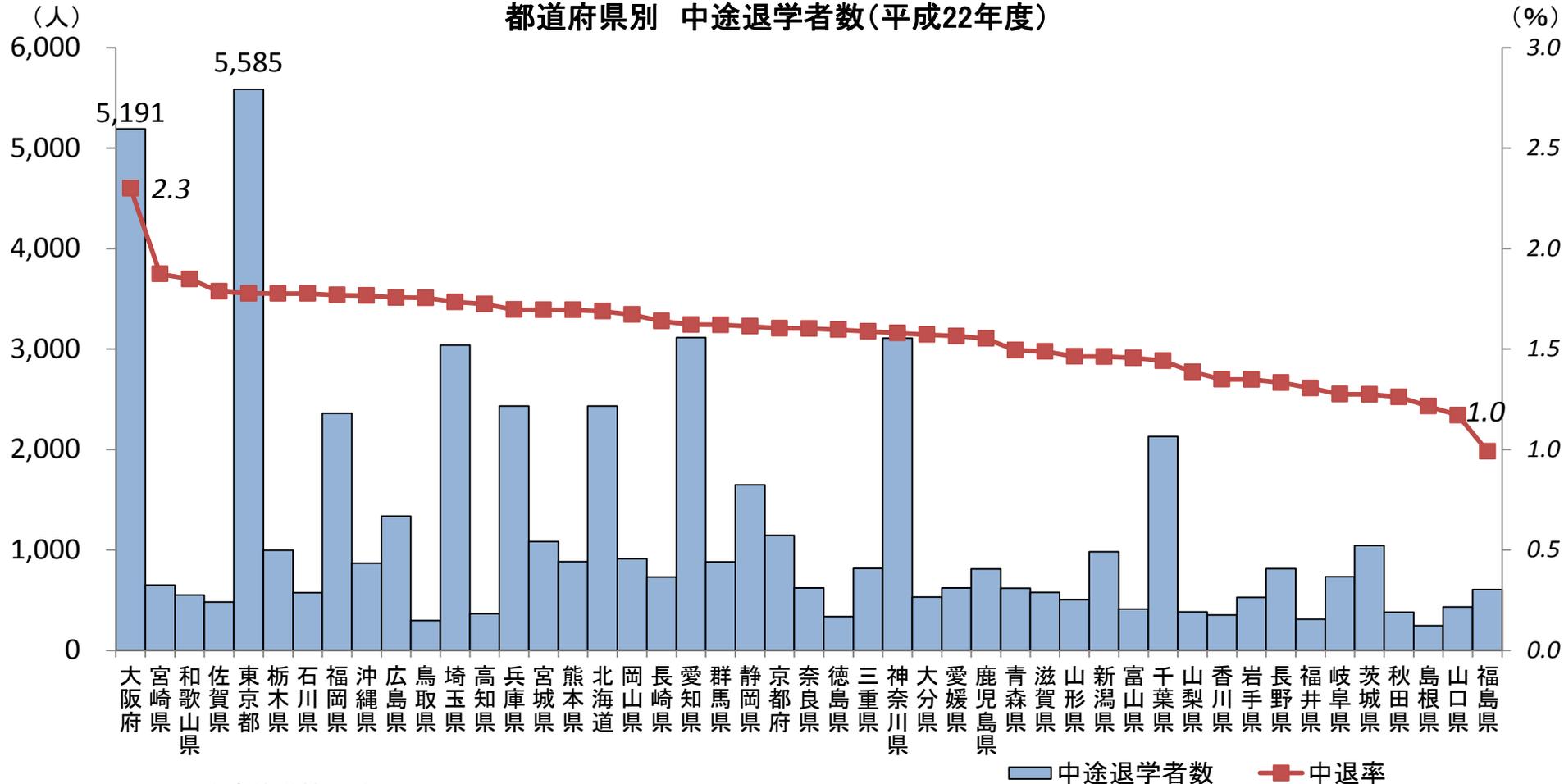


出典:文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

# 中途退学の状況②(全国比較)

➤ 大阪府は、中途退学者数は全国で東京都に次いで多く、中退率は全国で最多。  
(全国平均: 1.6%)

都道府県別 中途退学者数(平成22年度)

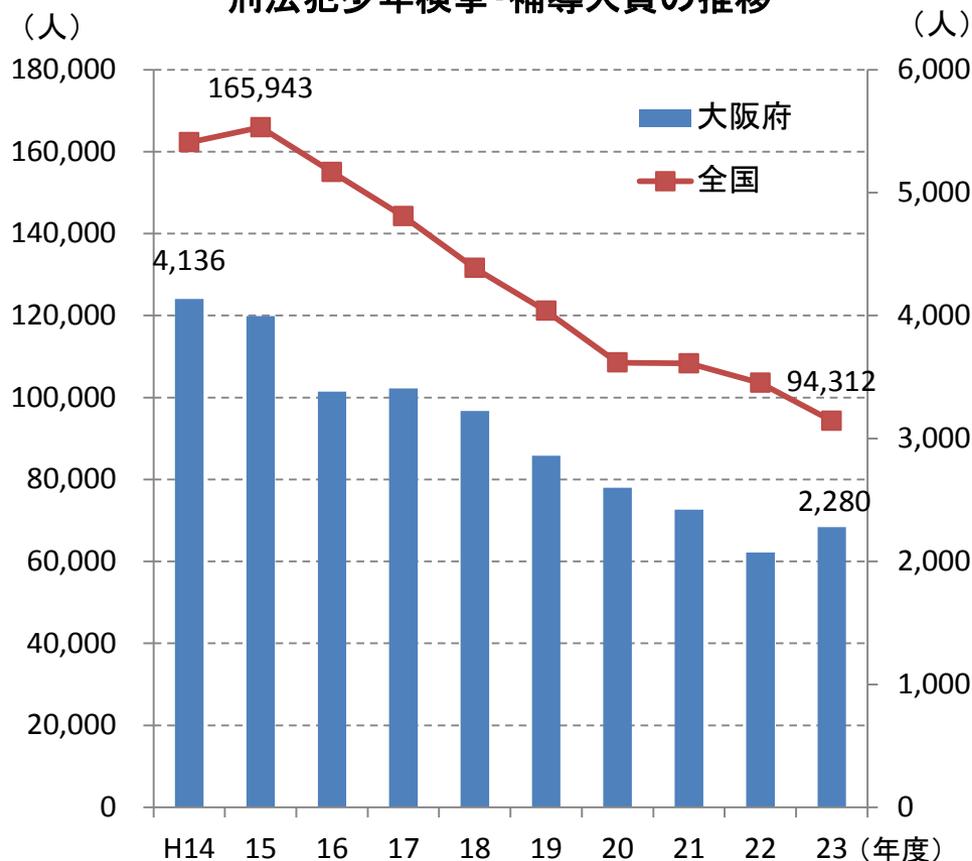


※国公立立高等学校の計

# 少年非行の状況(全国・大阪府)

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は、全国・大阪府とも減少傾向。
- 刑法犯少年のうち高校生の占める割合は、全国ではやや減少傾向だが、大阪府ではほぼ横ばい。

## 刑法犯少年検挙・補導人員の推移



## 刑法犯少年のうち高校生在が占める割合

